

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

14.2
134

大正四年四月

大正三年度業務功程

愛知縣立農事試驗場

始



14.2-134



緒言

ハ大正三年度ニ於ケル當場業務ノ概要

ヲ輯録シタルモノナリ

大正四年四月

愛知縣立農事試驗場



大正三年度業務功程目次

種 藝 部

一、試驗事業	一〇頁
水 稻	全 頁
陸 稻	八 頁
麥 類	全 頁
麥芽用大麥試驗	一〇頁
二、委託試驗	一二頁
三、水稻採種田	一三頁
四、種子ノ配布	全 頁
五、農具ニ關スル件	一五頁
水 稻	全 頁
陸 稻	一六頁
麥 類	全 頁



愛知県立農事試験場



農藝化學部

一、試驗事項……………一八頁
 麥類……………全頁
 水稻……………全頁
 二、依賴分析……………二五頁
 三、酸性土壤調查……………二七頁
 四、野鼠チブス菌配布……………全頁

園藝部

果樹附花附花卉温室……………二九頁
 一、試驗事業……………全頁
 桃、梨、葡萄、柿、枇杷其他ノ種類試驗……………三〇頁
 整枝、剪定、植付及深淺時期試驗……………四一頁
 肥料試驗……………四四頁
 病害試驗……………四五頁

二、果樹園ノ手入及整理……………四九頁
 三、果實ノ加工……………五〇頁
 四、委託試驗……………五一頁
 五、家庭果樹園……………五二頁
 六、花卉及温室……………全頁
 七、種苗配布……………五五頁
 蔬菜……………五八頁

一、試驗事業……………全頁
 各種類病害、肥料ニ關スル試驗……………全頁
 二、試作……………六四頁
 三、輪栽標準栽培……………全頁
 四、促成栽培……………六六頁
 五、玻璃室栽培……………六八頁
 六、軟化栽培……………六九頁
 七、種苗ノ配布……………全頁

八、委託採種	七〇頁
温室	七一頁
一、各種試驗	全頁
畜産部	
一、試驗事業	七五頁
養鶏ニ關スル各種試驗	全頁
二、種禽ノ繁殖	八〇頁
三、委託試驗	八一頁
四、養豚	全頁
雜之部	
一、出張	八四頁
二、印刷物	八五頁
三、文書受發	八六頁
四、參觀人	全頁
五、職員	全頁

大正三年業務功程

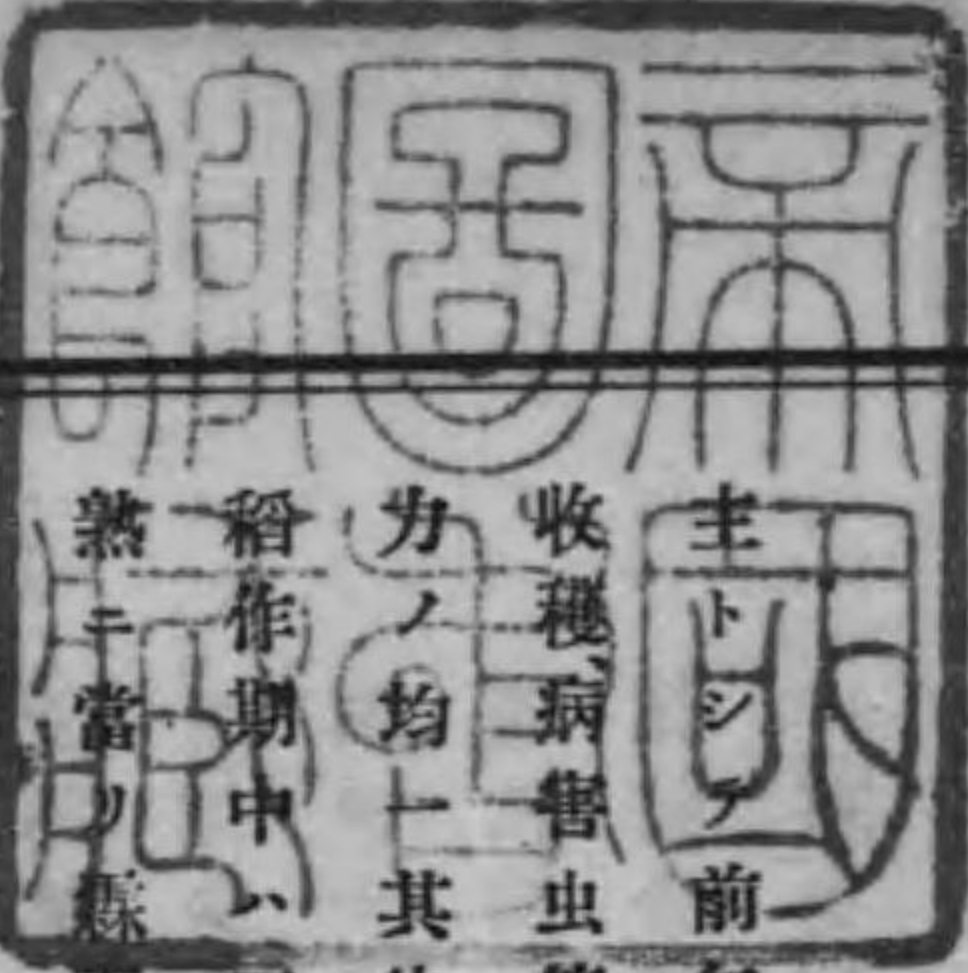
種藝部

一、試驗事業

主トシテ前年ニ繼續シ縣下ノ重要農作物タル水稻陸稻麥類等ニ就キ品種耕耘肥培收穫病害虫等改良増殖ニ關スル試驗ヲ施行セリ然レモ前年敷地ノ移轉ニ伴ヒ尙地力ノ均ト其他意ノ如クナラザル結果成績ノ充分ナラザルモノアルハ遺憾ナリ殊ニ稻作期中ハ天候頗ル順調ヲ得遺憾ナキ生育ヲ遂ケタリシモ麥作ニアリテハ出穂登熟ニ當リ驟雨ニ際會シ爲メニ著シク稔實ヲ妨ケ試驗ノ成績ニ甚タシキ障害ヲ來セリ今其試驗事項ノ主ナルモノ及之等成績ノ概要ヲ摘記スレバ左ノ如シ

水稻ノ部

一、豊凶考照試驗 本試驗ノ目的ハ早中晩各三種宛ヲ一定シ年々同一ニ全一ノ耕種法ニヨリ栽培シ所定ノ時期ニ於ケル生育ノ狀況ニヨリ豫メ收量ノ多寡ヲ判斷シ以テ其年ニ於ケル稻作ノ豊凶ヲ考照セントスルニアリテ生育期中數回行



二、 調査ニ基キ時々作況豫想ヲ發表セリ

二、 品種試験 從來試験ノ結果優良ト認メタルモノ二十一種ニ就キ收量ノ多寡、品質ノ良否ヲ檢シ廣ク縣下ニ適應スル優良種ヲ選出センカ爲メ施行スル所ニシテ本年度ノ成績ハ柏原神力中稻相德(晚稻晚白笹、黄笹)共ニ晚種等優良ノ結果ヲ示セリ

三、 新品種比較試験 畿内支場及當場ニ於テ人工交種ニヨリ創作セル品種中有望ト認メタルモノ十六種ニ付キ其特性、收量ノ多寡ヲ比較試験セリ其成績ハ標準區タル神力種ニ比スレバ多少收量ノ劣レルノ感アリト雖モ畿内中稻十五號、全晚稻四號、全中稻六十九號、全稻五號等ハ最モ有望ナルヲ認メタリ

四、 雜種分離遺傳試験 本試験ハ人工交種ニヨル雜種第二代ニ就キ「メンデリズム」ニ隨テ分離スル狀況ヲ觀察調査シ優良ナル新品種ヲ選出センガ爲メニ施行セシモノニシテ供試雜種十四種中主ナルモノ三種ニ就キ出穂、成熟、稈長、分蘖、稈ノ細太、葉色、穗ノ大小、芒ノ有無、粉芒、及雌蕊等、色彩粒ノ大小、品質ノ如何等其特性ノ總テニ付キ調査ヲ行ヒ其他ハ次年ニ於ケル調査用ヨリ優良ナル株ノ選擇ヲ行ヘリ

五、 雜種第一代ノ育成 前年人工交種ヲ行ヒタル雜種三十六種ヲ植木鉢ニ於テ培養セリ其大部分ハ確實ニ目的ヲ遂ケ且ツ諸種單位、形質ノ優劣ヲ調査決定スルヲ得タリ

六、 純系選抜試験 縣下ニ最モ廣ク栽培セラル、稻種ニ就キ優良ナル純系ヲ選抜シ採種田ノ原種ヲ育成センガ爲メニシテ左記ノ順序ニヨリ施行セリ

一、 選抜田 純系選抜ノ第一着ニシテ永年農家ノ栽培ニ係ル錯雜セル系統ノ種類ヲ一本植トナシ精細ニ觀察調査シ善良ナル株ヲ選抜スルヲ目的トシ本年度ニアリテハ神力種ニ就キ之レヲ行ヒタリ

二、 遺傳力試験 選抜田ニ於テ選抜セル稻ヲ各株別々ニ作付遺傳力ノ有無程度ヲ檢スルガ爲メ行フモノニシテ前年柏原神力、早生神力、相德中ヨリ選擇セルモノ百四十種ニ就キ施行セリ

三、 生産力試験 遺傳力試験ノ結果最モ優秀ナル形質ヲ遺傳セル純系ニ就キ其生産力ノ多少ヲ比較センガ爲メ行フ所ニシテ本年度ニアリテハ神力、早生神力、柏原神力、相德ノ純系十八種ニ就キ其收量ヲ比較セシニ系統ノ錯雜セルモノニ比スレバ各種共多少優レルモノアルヲ認メタリ

- 七、豫備種類試驗 本試驗ハ本年新タニ他ヨリ取寄セタル種類及前年ニ引續キ豫備的調査ヲ要スルモノ百四十種ニ就キ其特性ノ調査ヲ行ヘリ
- 八、稻種系統的分類 前年ニ引續キ縣下各地ニ栽培セラレ、水種ノ品種及當場栽培ノ品種ニ就キ其特性ヲ調査シ系統的ニ分類ヲナサントスルニアリテ本年度ニ於ケル調査品種ハ三百三十二種、内梗二百七十八種、糯五十四種ナリトス
- 九、移植法試驗 本試驗ハ一步ニ栽植スベキ株數等シキニ於ケル株間ノ長短、遠近ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ試ミ適當ナル移植方法ヲ見出サンガ爲メ前年ニ引續キ施行スル所ニシテ其本年度ノ成績ハ正方形植最モ收量多ク長方形ノ度ヲ増スニ從テ收量遞減スルノ結果ヲ示セリ
- 一〇、株數試驗 本試驗ノ目的ハ一步ニ栽植ス可キ株數ノ多少ガ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確メンガ爲メニ施行セシモノニシテ本年度ノ成績ハ株數ノ増加ニ伴ヒ收量亦多少多シト雖モ其程度ハ僅少ナリ
- 一一、耕土深淺試驗 本試驗ハ施肥量ヲ異ニスル場合ニ於ケル耕土ノ深淺ガ稻ノ生育收量ノ多寡、品質ノ良否ニ及ボス關係ヲ確查センガ爲メ施行セシモノニシテ耕土ノ深サハ三寸ヨリ九寸ニ至リ各普通肥料全三割減全三割増ノ三様ニ區

別セリ其成績ハ耕土ノ深キト施肥量ノ多キニ從テ收量ヲ増加シ明カニ深耕ノ利益ヲ認メタリ而シテ深耕ニ伴フ增收歩合ハ施肥量ノ少キ場合ニ於テ最モ多シトス

一二、生育ヲ異ニスル苗ノ比較試驗 本試驗ハ當場附近農家ノ苗代ヨリ生育ヲ異ニスル種々ノ苗ヲ蒐集シ其生育收量ニ及ボス關係ヲ確查シ以テ一般當業者ノ苗育成改良上ノ資ニ供センガ爲メ施行スル所ニシテ本試驗本年度ノ成績ハ分

一三、旱害ニ關スル試驗 本試驗ノ目的ハ稻ノ生育最モ旺盛ナル時期ニ於テ水分欠乏ノ程度ヲ異ニスル場合ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ試ミンガ爲メニシテ一反歩二萬分ノ一ノ植木鉢ニ於テ施行セリ其成績ハ水分欠乏ノ度ヲ増スニ從テ被害程度ヲ増加シ收量ヲ減ジ凋萎期間五日落水九日ニ亘レルモノハ遂ニ枯死セリ然レトモ落水五日(凋萎一日)迄ハ著シキ被害ヲ呈セザリシ

一四、雜種對病害試驗 本試驗ハ病害ニ對シ抵抗力強キ品種ヲ育成スルノ目的ヲ以テ人工交種ヲ行ヘル十數種ノ稻ニ就キ稻熱病ニ對スル抵抗力ノ強弱ヲ確メ

少シ尙將來生産力比較ノ結果ニヨリ優良ナル品種ヲ選出セントス

一五、無機肥料連用試験 本試験ハ繼續五年目ニシテ其目的ハ無機肥料ニ屬スル硫酸アンモニヤ及ヒ石灰窒素ヲ連用スル場合ニ若干ノ有機肥料(堆肥)ヲ加用スルト否カラサル場合ニ於ケル土壤ノ性質並ニ稻ノ生育ニ及ホス影響如何ヲ試ミンガ爲ニシテ其成績ハ未タ著シク無機肥料連用ノ害ヲ認メス

一六、紫萁英施用法試験 本試験ハ經濟的肥料タル紫萁英ニ對スル適當ナル施用方法ヲ見出サンガ爲メニ施行セシモノニシテ本年度ニ於ケル成績ハ石灰ト併用シタルモノ最好成績ヲ示セリ

一七、紫萁英施用量試験 本試験ハ紫萁英ヲ施用スル場合ニ於ケル施用ノ適量ヲ見出サンガ爲メニ行フ所ニシテ其成績ハ未タ判明セズ

一八、堆肥効驗試驗 本試験ノ目的ハ當場圃場ノ如ク開墾日尙ホ淺クシテ重粘ナル土地ニ對スル効驗ヲ知ラントスルモノニシテ本年ハ準備試験トシテ豫メ堆肥ヲ施シタルモノト否カラサルモノトノ二様ニ分チ施行セリ而シテ數年ノ後チ何レモ同一肥料ヲ以テ栽培シ其肥効及ビ土質ニ及ホス作用ヲ檢セントス

一九、晚肥試驗 本試験ノ目的ハ穗朶期ニ於ケル施肥ノ其生育收量米質ニ及ホス

關係ヲ試ミンガ爲メ施行セシモノニシテ本年度ノ成績ハ未タ判明セズ

二〇、堆肥施用量試験 本試験ハ堆肥ノ肥効並ニ用量ヲ異ニスル場合ニ於ケル地力増進ニ及ボス影響ヲ確メンガ爲メニシテ地力ニ及ボス影響ハ判明セスト雖モ其用量ヲ増加スルニ從ヒ收量モ又増加セリ

二一、肥料ノ配合ニ關スル試験 本試験ハ肥料反應ノ如何ガ稻ノ生育收量ニ及ボス關係ヲ知ランガ爲メニシテ酸性、中性、塩基性ノ三様ニ配合試験セリ其成績ハ未ダ判明セズ

二二、二化螟虫ニ關スル調査 二化螟虫ノ經過、被害狀況、驅除法ニ關シ調査研究スルヲ目的トシ左ノ調査ヲ行ヒタリ

一、發蛾期調査 五月上旬ヨリ九月下旬ニ至ル間當場構内ニ毎夜誘蛾燈一個ヲ点ジ之レニヨリ螟蛾ノ發生時期狀況ヲ調査セリ

二、第一回加害期調査 第一回加害期即チ心枯發生期中、五日毎ニ一定ノ稻田中ヨリ被害莖ヲ採取シ被害莖數該莖ニ對スル螟虫ノ棲存狀態及發育ノ程度ヲ調査セリ

三、第二回加害期調査 第二回加害期即チ枯穗發生期中五日毎ニ一定ノ稻田

- ヨリ被害莖ヲ採取シ被害莖數、螟虫ノ棲存、狀態及發育程度ヲ調査セリ
- 四、越冬狀況調査 藪及刈株内ニ蟄伏越冬スル幼虫ノ狀態ヲ調査セリ
- 五、寄生蜂ノ調査 螟虫卵ニ寄生スル赤卵蜂ノ狀況ヲ調査セントスルモノニシテ當場構内ニ於テ採取セル螟卵ニ付キ其寄生歩合ヲ調査セリ

陸稻ノ部

- 一、品種試験 優良ナル品種ヲ選出センガ爲メニシテ從來ノ試験ノ結果比較的優良ト認メタルモノニ新品種ヲ加ヘ施行セリ其成績ハ大畑早生、オイラン、ヤカン、目黒糯、アラビヤ糯等優良ノ結果ヲ示セリ
- 二、堆肥ノ効驗試験 堆積肥料ノ肥効並ニ地力ニ及ボス作用ヲ檢セントスルモノニシテ併用肥料硫酸アンモニヤ及鱧粕トシテ施行セリ其成績ハ未ダ判明セズ

麥類ノ部

- 一、大小裸麥品種試験 本試験ニ從來試験ノ結果優良ト認メタルモノニ更ニ新品種ヲ加ヘ其特性及收量ヲ檢シ優良ナル品種ヲ選出センガ爲メニ施行セシモノ

- ニシテ本年度ノ成績ハ大麥ハ穗揃、改良大麥、裸麥ハ鬼裸、鼈甲、香川、小麥ハ白坊主、中村、赤坊主等比較的優良ナリ
- 二、豊凶考照試験 其目的水稻全試験ト同一ニシテ大小裸麥三種宛ヲ選ミ同一ノ耕種法ニヨリ栽培シ時々生育調査ヲ行ヒ該調査ニ基キ其年ニ於ケル豊凶豫想ノ資トナシ之レヲ報告發表セリ
- 三、堆肥効驗試験 堆積肥料ノ肥効並ニ連續施用ノ場合ニ於ケル地力ニ及ボス操作ヲ檢セントスルモノニシテ併用肥料ハ硫酸アンモニヤ及鱧粕トセリ其成績地力ニ對スル操作ハ判明セザレモ堆肥ノ効驗ハ頗ル著シク硫酸アンモニヤ、鱧粕共ニ堆肥ヲ施用セザルモノハ生育頗ル劣レリ就中硫酸アンモニヤ區ハ堆肥ヲ施シタルモノニ比シ著シキ經庭ヲ來セリ
- 四、窒素肥料試験 主ナル窒素肥料ノ効驗ヲ確メンガ爲メニ施行セシモノニシテ其成績ハ鱧粕、大豆粕最モ効驗多ク人糞尿之レニ次キ智利硝石、硫酸アンモニヤ、ハ最モ劣レリ
- 五、無機肥料試験 本試験ハ硫酸アンモニヤ、智利硝石、石灰窒素ノ効驗ヲ確ムルト共ニ連用スル場合ニ於ケル土壤ニ對スル操作ヲ試ミンガ爲メニシテ其成績ハ

智利硝石最モ効驗多ク石灰窒素、硫酸アンモニヤ區ハ稍劣レリ而シテ各肥料共ニ加里肥料ヲ糞灰ニテ施給シタルモノ收量多ク硫酸加里ヲ以テシタルモノハ一般劣レリ

六、豫備種類試驗 本試驗ハ本年新ニ他ヨリ取寄セタル種類其他ノ品種ニシテ豫備的調査ヲ要スルモノ二百七十餘種ニ就キ其特性ノ調査ヲ行ヘリ

七、畦幅對施肥量試驗 本試驗ハ施肥量ヲ異ニスル場合ニ於ケル畦巾廣狹カ其生育收量ニ及ボス關係ヲ試ミンガ爲メ施行スルトコロニシテ本年度ノ成績ハ畦巾ノ狹キヨリ却テ廣キヲ可トシ殊ニ施肥量ヲ増加セル場合ニ於テ然リトス

八、播種期對施肥量試驗 肥料ノ用量ヲ異ニスル場合ニ於ケル播種期ノ早晚カ其生育收量ニ及ボス關係ヲ試ミンガ爲メニシテ本年度ノ成績ハ十一月一日ヨリ全月十五日迄ノ間ニ播種セルモノ收量多ク之レヨリ早晚何レニ失スルモ不可ナリ然レトモ肥料ノ用量ニ對スル關係ハ未ダ判明セズ

麥芽用大麥試驗

本試驗ハ農商務省ノ委託ニ係ルモノニシテ前年ニ引續キ左ノ試驗ヲ行ヘリ

一、品種試驗 麥芽用ニ適當ナル優品種ノ選出センガ爲メニシテ農商務省農事試驗場及各府縣ヨリ取寄タル外國種大麥二十八種、在來種二種合計三十種ニ付キ施行セリ其本年度ノ成績ハ獨乙四號、フェルト、インピンシトブル、スワロフシバリエト二號優良ナル結果ヲ示セリ

二、各種窒素質肥料及其施用量ニ關スル成績 本試驗ハ形態ヲ異ニセル各種窒素質肥料及其施用量が大麥ノ收量品質ニ及ボス關係ヲ試ミントスルニアリテ本年度ノ成績ハ氣候ノ關係上、籾、大豆籾ハ比較的優良ノ結果ヲ示シ硫酸アンモニヤ、智利硝石ノ如キ化學肥料ハ劣レリ而シテ其用量ニ至リテハ區々ニシテ未ダ判定ヲ下ス能ハズ

三、施肥期試驗 施肥ノ早晚ガ其收量品質ニ及ボス關係ヲ試ミントスルモノニシテ其成績ハ施肥期ノ極端ニ早キモノ及遲キモノ共ニ不利ニシテ大豆籾ノ如キ大部分ヲ元肥トシ一部ヲ追肥トシテ施シ人糞尿ハ之レヲ三回ニ分チ二月下旬迄ニ施用シ終ルヲ可トスルノ結果ヲ示セリ

四、播種期試驗 播種ノ適期ヲ見出サンガ爲メ行フ所ニシテ本年度ノ成績ノ良キモノ即チ十一月五日播最モ收量多ク播種後ル、ニ從ヒ漸次收量ヲ減セリ

- 五、播種量試験 播種ノ適量ヲ知ランガ爲メ行フ所ニシテ其成績ハ四升乃至五升播ノモノ收量多キ結果ヲ示セリ
- 六、豫備種類試験 本試験ハ品種試験供用品種以外ニシテ比較的有望ナルモノ六、七種ヲ選抜セリ

一、委託試験

委託試験ハ氣候、風土ノ關係ニヨリ場内ニ於テ行フコト能ハザル特種ノ試験又ハ試驗成績普及ノ方法トシテ模範的耕作ヲナシ當業者ノ注意ヲ喚起セシムルノ目的ヲ以テ行フモノニシテ本年度ハ蘭草ニ關シ碧海郡知立町ニ設置セリ其試験ノ概況左ノ如シ

- 一、施肥法試験 本試験ハ蘭作ニ對スル適當ナル施肥法ヲ見出サンガ爲メ行ヒタルモノニシテ其本年度ノ成績ハ三回目ノ追肥ヲ省キタルモノ即チ元肥共ニ三回ニ分施區四回分施ノ毎回全量區及標準區ハ稍佳良ナル結果ヲ示セリ
- 二、施肥量試験 本試験ハ蘭作ニ對スル施肥ノ適量ヲ見出サンガ爲メ行フ所ニシテ本年度ノ成績ハ標準區即チ當場普通肥料ハ蓋シ其適量ナルガ如シ

- 三、石灰加用試験 蘭草ニ對スル石灰ノ効驗並ニ施用ノ適量ヲ見出サンガ爲メ施行セシモノニシテ其成績ハ石灰加用ノ必要極メテ少キガ如シ

三、水稻採種田

優良ナル稻種普及ノ目的ヲ以テ本年度經營セル採種田ハ碧海郡六ツ美村ニ三反歩及場内番外田ノ一部ニ設置シ採種品種ハ神力種ヲ始メ早生神力、柏原神力、竹成、愛國、相徳、永田糯及陸稻大畑早生、アラビヤ糯等ニシテ生育中ノ氣候頗ル適順ナリシ爲メ各種共遺憾ナキ優良種子ヲ收穫スルヲ得タリ其種子ノ生産量ハ神力凡ソ五石其他ノモノ約十石ニシテ主トシテ郡市農會又ハ諸種組合等ノ直營セル採種田又ハ模範田ノ原種トシテ配付シ其剩餘ハ一般當業者ノ希望ニ應シ無償配付ヲナセリ

四、種子配付

試験ノ成績ニヨリ優良ナル品種ノ普及ヲ圖ランガ爲メ希望ニ應シ特ニ精選セル種子ヲ當業又ハ農會其他ノ公私團體ニ無償配付ヲ行ヒタリ其數量種類左ノ如シ

大 麥 改良大麥種

五斗九升八合

小	チ	三斗七升八合
河	内	一斗二升三合
裸	コビンカタギ	三斗一升三合
薄	皮	七升八合
雜		六升八合
合	計	一石五斗五升五合
水	柏原神力	一石四斗二升六合
稻	神力	三石一斗
	早生神力	一石七斗五升
	竹成	二斗一升一合
	相徳	三斗二升九合
	愛國	三斗三升
	永田	五斗四升七合
	萬歳	二斗〇六合

陸	大畑早生	三升〇五勺
合	アラヒヤ彌	七升六合五勺
計		八石〇〇六合
此配付人員	當業者	九百〇四人
	農會其他公私團體	百三十八

五、農具ニ關スル件

農具ニ關スル試驗ハ農商務省ノ指定ニヨリ行フ所ニシテ前年ニ引續キ各機共本年
 度新ニ購入セルモノヲ加ヘ粉磨臼及粉磨機三十三種、稻拔機十一種、稻拔十三種、磨
 機十二種、大豆粕削機十四種、唐箕六種、万石籠六種、除草器十數種、前年試驗ノ結果佳良
 ナラザルモノハ省キタリニ就キ其構造優劣ヲ比較調査シ尙ホ粉磨臼ニ對シテハ特
 ニ其齒部ニ就キ調査研究ヲ行ヘリ
 以上ハ安城種藝部ニ於ケル業務ノ概要ナルガ尙ホ清洲農場ニ於テモ水稻麥類ニ付
 キ左記試驗ヲ施行セリ

水稻ノ部

- 一、品種試験 從來試験ノ結果比較的優良ト認メタルモノ二十一種ニ就キ施行セシ本試験本年度ノ成績ハ中稻柏原神力、全伊勢穗、晚稻相徳等優良ナリ
- 二、豫備種類試験 新タニ他ヨリ取寄タル種類及前年度ニ引續キ調査ヲ要スルモノ六十餘種ニ付キ其特性ノ調査ヲ行ヘリ
- 三、各種窒素質肥料試験 主ナル窒素質肥料九種ニ就キ其効驗ヲ確メンガ爲メ施行セシ所ニシテ其成績ハ鯨粕、大豆粕最モ効驗著シキ結果ヲ示セリ
- 四、紫雲英施用法試験 紫雲英ニ就キ適當ナル施用法ヲ見出サンガ爲メ施行セシモノニシテ本年度ニ於テハ生ノ儘施用シタルモノ及石灰ヲ加用シタルモノ好結果ヲ示セリ

陸稻ノ部

- 一、品種試験 本試験ノ目的ハ廣ク縣下ニ適應スル優良品種ヲ選出センガ爲メ施行スル所ニシテ本年度ニアリテハ各種共著シク旱害ヲ蒙リ成績判明セズ

麥ノ部

- 一、品種試験 從來試験ノ結果優良ト認メタル品種ニ更ラニ新品種ヲ加ヘ大小裸麥三十餘種ニ就キ其性狀收量ノ多寡、品質ノ良否ヲ比較セリ其本年度ノ成績ハ大麥ニアリテハ穗揃、改良大麥、裸麥、香川、龜甲、小麥ニアリテハ、チク、赤坊主等優良ナリ
- 二、各種窒素質肥料比較試験 其目的水稻ニ於ケル全試験ト全一ニシテ其成績ハ鯨粕、硫酸アンモニヤ最モ効驗多シ
- 三、大豆粕配合試験 本試験ノ目的ハ大豆粕ヲ主肥トシテ施用スル場合ニ於ケル最モ適當ナル配合施用法ヲ見出サンガ爲メ施行セシモノニシテ其成績ハ區々ニシテ未ダ判明スルニ至ラズ

農藝化學部

本年度ニ於テハ多クハ前年度ヲ繼續シ試験事項トシテハ主トシテ石灰、石灰窒素、三要素適量ニ關スル肥料試験及縣下重要土壤對三要素ニ關スル土壤試驗等ヲ圃場、木框及「ポット」ヲ用キテ調査シタルト一般當業者及農會、購買組合等團體ノ依頼ニ係ル肥料、土壤農産物、フオルマリン等ノ定量、定性分析、場用分析、野鼠、チブス、菌ノ配布ナリトス

一、試験事項

麥之部

- 一、三要素適量試験(圃場) 本場土壤ニツキ三要素ノ適量ヲ知ラントセシモノニシテ「ポット」試験ト相俟テ行ヘリ其ノ成績ハ地力ノ均一ヲ欠キシ爲メ不明ナリキ尙繼續施行セントス
- 二、石灰加用試験(圃場) 麥作ニ石灰ヲ加用シテ其ノ効驗ヲ知り併セテ其ノ適量ヲ知ラントセシモノニシテ本年度ハ石灰三十貫加用區極メテ良好ナリキ、本試験

ハ尙石灰ノ連用ガ土壤ノ性質作物ノ品質ニ及ス關係ヲモ調査シタル著シキ差異ナカリキ

- 三、石灰窒素ノ施行法ニ關スル試験(圃場) 石灰窒素ノ施行法ト播種ニ關スルモノニシテ堆肥又ハ土壤ト豫メ堆積スルノ如何ヲ攻究セリ、本年度ハ豫メ十培ノ堆肥ト堆積セシ後五日前ニ施用セシモノ最モ良好ナリキ
- 四、窒素ノ肥効價査定試験(木框) 大豆粕、味噌粕、糠粕、菜種油粕、硫酸アンモニヤ、智利硝石ヲ以テ窒素ノ同一量ヲ施シ被吸收ノ窒素ヲ定量算出シテ肥効價ヲ査定セントセシモノニシテ本年ハ播種當時氣温甚ダ高ク螟害ヲ被リ幼植物ヲ他ヨリ移植ノ上施行シタルバ不合理ナル數字ヲ得タリ尙繼續攻究ス
- 五、三要素適量試験(鉢) 前記圃場試験ト相俟テ行ヘルモノニシテ本場土壤ハ石灰ニ著シク欠クレバ智利硝石、過磷酸石灰、硫酸加里ヲ用キテ施行セル本試験ニ於テハ草出來極メテ不良其ノ適量ハ不明ナリキ
- 六、酸性土壤ニ對スル加里肥料ノ効驗(鉢) 知多郡三和村ニハ強度ノ酸性土壤(鹽化加里法ニヨル)アリ本土壤ニ對シテ二三ノ加里肥料ハ如何ナル影響ヲ及スヤ又石灰ヲ加用シタル場合ニ如何ナル關係アリヤヲ攻究セシモノニシテ其ノ成績

ハ水稻ノ場合ハ大ナル差異ナキモ裏作タル麥ニ對シテハ藪灰ハ著シク良好ニシテ鹽化加里、硫酸加里ハ却テ有害ナリキ、石灰ノ効能ハ特ニ顯著ニシテ加里肥料ノ種類ニヨリ差異アリ藪灰ハ最モ良好ナリキ

七、「トーマス」磷肥効試驗(鉢) 「トーマス」磷肥ノ拘糶酸ニ溶解スル磷酸ヲ過磷酸石灰ノ水溶磷酸ニ比較セリ、本年ノ成績ハ「トーマス」磷肥ノ肥効ハ極メテ偉大ニシテ過磷酸石灰、石灰加用區ヨリ遙カニ優レリ尙攻究セントス

八、「三要素試驗(小形鉢)」 三要素適量試驗ノ豫備トシテ木曾川、矢作川、豊川、ノ沖積土ニツキ三要素ノ何レニ欠クルヤヲ知ランガ爲メニ行ヘリ
木曾川沖積土 (壤土、海部郡三和村) 採集土壤ニ肥料分ノ蓄積多ク施用肥料稍ヤ過多ノ爲メ成績不明ナリキ
矢作川沖積土 (壤土、碧海郡六ツ美村) 其ノ成績ニヨレバ窒素ニ甚ダシク欠ケ磷

酸加里モ少ナシ
豊川沖積土 (埴質壤土、寶飯郡牛久保町) 採集土壤ニ養分ノ蓄積多ク稍ヤ出來過ナリシモ磷酸ノ欠乏セルヲ知レリ

水稻之部

一、紫萁英ニ對スル石灰加用試驗(圃場) 前年ノ繼續ニシテ紫萁英ヲ施用スルニ當リ其ノ効驗ヲ大ナラシメン爲メニ石灰ヲ加用シテ適量ヲ知リ又石灰連用ト土壤作物ノ性質ヲ攻究セントセリ、本年ノ成績ハ玄米ノ容量ニアリテハ九十貫區最モ優リタルモ一升量ニアリテ劣リタリ玄米ノ硬度、水分窒素全量、蛋白質態窒素ハ石灰ノ加用ニヨリ幾分ノ増加ヲ示スモ用量ニハ一定ノ關係ヲ見出サザリキ

二、大豆粕ニ對スル石灰加用試驗(圃場) 前年ノ繼續ニシテ目的前試驗ニ同ジ本年ノ成績ニヨレバ石灰ノ多量ト玄米ノ容量ノ一致スルコト前試驗ニ同ジク但シ一升量ハ九十貫區劣レリ、玄米ノ品質調査ニヨレバ石灰加用ハ影響ナク唯六十貫匁ノ窒素全量稍ヤ少キノミナリキ、又玄米ノ市價ニ差異ナカリシコト前試驗ニ同ジ

三、石灰窒素ノ肥効試驗(圃場)

(イ)無機肥料共用即チ過磷酸石灰、硫酸加里及過磷酸石灰、藪灰ノ二ツノ場合ニ於テ石灰窒素ヲ硫酸アンモニヤ、ニ比較セリ本年ノ成績ニヨレバ石灰窒素ハ何レノ場合モ硫酸ニ優レリ但シ硫酸加里施用ノ場合ニ特ニ著シカリキ

(ロ)有機質肥料施用即チ麥稈、米糠、過磷酸石灰、藎灰ヲ施用シタル場合ニ硫酸アンモニヤト比較セリ

(ハ)石灰窒素中ニ含有サル石灰ノ影響ヲ除カンガ爲メニ(ロ)ト同種ノ肥料ニ石灰ヲ反當百貫匁加用シテ比較セリ

右(ロ)(ハ)ノ二試験共石灰窒素ハ硫酸アンモニヤニ優レリ但シ(ハ)(ロ)ニ比シ其割合ノ稍ヤ劣ルヲ認メタリ

四、紫雲英對磷酸加用試驗圃場) 紫雲英ヲ施用スルニ當リ過磷酸石灰ノ多少ガ稻作ノ生育收量、品質ニ如何ナル影響ヲ及スカヲ攻究セシモノニシテ本年ノ成績ハ玄米ノ容量ニアリテハ過磷酸石灰五貫匁加用區最モ優リ又過磷酸石灰加用ニヨリ硬度、腹白ニ多少好結果ヲ與ヘタルモ窒素全量、蛋白質態窒素、粗灰分ニハ何等影響ナカリキ

五、紫雲英對加里加用試驗圃場) 本試験ノ目的ハ前試験ニ同ジク硫酸加里一貫、二貫、三貫ノ三加用區ヲ設ケテ調査セリ、本年ノ成績ニヨレバ硫酸加里ノ加用ハ收量ニ何等ノ効果ナカリシモ腹白歩合、硬度ニ多少好結果ヲ與ヘタリ、其他窒素全量、蛋白質態窒素、粗灰分ニハ差異ナカリキ

六、三要素適量試驗圃場) 本場土壤ニ對スル三要素ノ適量ヲ知ラントスルコト麥作ニ全ジ窒素、磷酸ハ反當一貫匁ヨリ三貫五百匁、加里ハ五百匁ヨリ三貫匁ニ至ル各五百匁ヲ異ニスル數區ヲ設ケテ調査セリ、本年度ハ各區共倒伏シ糶、青米多ク結實完全ナラザリキ、窒素試験ニ於テハ一貫五百匁磷酸ニアリテハ一貫五百匁及二貫匁加里ニアリテハ一貫匁ヲ以テ各優良ナリトス

七、窒素ノ肥効價査定試驗木框) 其ノ目的ハ麥作ニ全ジク主ナル窒素肥料ノ被吸收ノ割合ヲ知ラントセリ、本年ノ成績ニヨレバ味噌粕ヲ第一トシ大豆粕、硫酸アンモニヤ、紫雲英、鯨粕、菜種油粕、鶏糞ト順次之レニ次グ其ノ被吸收ノ割合ハ尙反復調査ノ上ニアラザレバ斷定シ得ズ

八、磷酸ノ肥効價査定試驗木框) 其ノ目的ハ前試験ト同ジク主ナル磷酸質肥料ノ被吸收ノ割合ヲ知ラントスルモノニシテ本年度成績ニヨレバ過磷酸石灰ヲ第一トシタンケージ骨粉、米糠、磷酸ト順次ヲナセリ、其ノ被吸收ノ割合ハ尙數回ノ調査ヲナシタル上ナラザレバ斷定シ得ズ

九、三要素適量試驗鉢) 本場土壤ニ對シ圃場試験ト相俟テ行フモノニシテ麥作ニ同ジ本年ノ成績ニヨレバ窒素ニアリテハ四貫匁、磷酸ニアリテハ一貫匁、加里ニ

アリテハ二貫五百匁ノ各區ハ最モ優レリ

一〇、石灰ノ肥効試驗(鉢) 水酸化石灰、炭酸石灰、硫酸石灰ヲ(甲)硫酸アンモニヤ、過磷酸石灰、硫酸加里(乙)硫酸アンモニヤ、磷酸曹達、炭酸加里ヲ用ヒタル兩場合ニ於テ比較セリ其ノ成績ハ(甲)ニアリテハ炭酸石灰ハ硫酸石灰、水酸化石灰ニ優レドモ特ニ石灰ノ効驗顯著ナラズ(乙)ニアリテモ炭酸石灰優良ニシテ多少ノ効驗アリシモ他ノ二種ハ共ニ劣リ却テ無石灰區ニ及バザリキ

一一、石灰窒素ノ肥効試驗(鉢) 本場土壤ニ對シ石灰窒素ノ効驗著大ニシテ共用肥料ガ酸化配合タルト塩基性配合タルトヲ問ハズ常ニ硫安ニ優ル事實アレバ尙調査ヲ行ヘリ本試驗ニ於テモ圃場試驗ト同ジク石灰ヲ多量ニ加用スルモ尙硫安ト同等以上ニアリ

一二、酸性土壤及同石灰加用土壤ニ對スル加里肥料ノ關係試驗(鉢) 塩化加里法ニヨル酸性土壤、全炭酸石灰加用土壤ニ對スル加里肥料ノ關係ヲ知ラントスルモノニシテ前項麥ノ裏作トシテ施行セリ其成績ニヨレバ石灰無加用ノ土壤ニアリテハ炭酸加里最モ優リ他ハ大ナル差異ナク而シテ藁灰ノ良好ナラザルハ本作ヲ無肥料トセシ結果前作ノ影響ナルベク石灰加用ノ土壤ニアリテモ藁灰最

モ優レリ尙前作ヲ參照スルニ本土壤ハ石灰ニ著シク缺ケ藁灰最モ有効炭酸加里之レニ次ギ硫酸加里、塩化加里ハ却テ不良ナリ

一三、代表的土壤ニ對スル三要素試驗(小形鉢) 三要素適量試驗ヲ攻究スル豫備トシテ行ヘリ本作ニ於テハ豊川沖積土二種、豊川洪積土一種ニ就テ行ヘリ

(一)豊川沖積土(砂質壤土、寶飯郡豊川町) 本土壤ハ窒素ニ著シク缺ケ磷酸ニモ稍ヤ缺ケリ

(二)豊川沖積土(埴質壤土、寶飯郡牛久保町) 本土壤モ窒素、磷酸ニ缺ケ加里ニモ亦缺クルヲ知レリ

(三)豊川洪積土(埴質壤土、寶飯郡豊川町本野) 本土壤モ窒素ニ著シク乏シク磷酸モ尙不足スルヲ知レリ

一、依 賴 分 析

本年度依賴分析件數ハ合計百九十五件ニシテ内手數料免除ニ係ルモノ三十九件ナリキ、其ノ件名ヲ擧グレバ

件名	件数
魚肥類	七
海産雜肥料	一
肉骨粉類	九
蛹糞粕	五
大豆粕	一
再製大豆粕	七
棉實油粕	八
諸油粕類	九
大豆	六
味噌粕	二
硫酸アンモニヤ	六
過磷酸石灰	二〇
硫酸加里	二
石灰窒素	一

灰類	四〇
配合肥料	二
硫酸アンモニヤ製造滓	九
堆積肥料	一
雜肥料	二
フオルマリン	四
合計	一九五

三、酸性土壤調査

前年度ニ於テ採集セシ渥美郡土壤ノ調査ヲ行ヘリ其ノ件數百八十件ナリ

四、野鼠「チブス」菌配布

本年ノ配布面積及其ノ郡町村名ハ次ノ如シ實施ニ當リテハ島メテ場員ヲ派遣監督セシメタリ

郡町村名	面積
海部郡彌富町	二〇〇、〇

海部郡南陽村	五〇、〇
丹羽郡西成村	五〇、〇
東春日井郡小牧町	五〇、〇
葉栗郡各町村	二七〇、〇
知多郡岡田町	二〇、〇
合 計	六四〇、〇

園 藝 部

果樹附花卉温室

本年度ニ於ケル事業ノ梗概ハ多ク前年度ヲ繼續施行シ今ヤ果樹園創設以來十三星霜ヲ經過シタレバ各種ヲ通ジテ樹姿完成シ結果盛期ニ達スルニ至リ殊ニ洋梨ノ如キハ未ダ嘗テ見ザルノ好成绩ヲ舉グルヲ得タリ只早天連續セルガ爲メニ果實ノ發育ヲ阻害シタルノ欠点アルモ花芽ノ着成ヲシテ甚ダ佳良ナラシメタリ一方果實ノ販賣及荷造ニ注意シ洋梨ノ如キハ浦塩及東京方面ニ試賣シ從來枇杷島市場ニ於ケル桃ノ荷造トシテ一般ニ石油箱ヲ使用セルノ結果果實ヲ損傷シ市價ヲ低廉ナラシムルノ欠点アレバ各種ノ小箱ヲ製造シ果實ヲ詰メ箱共賣却シタルニ非常ノ歡迎ヲ受ケタリ其他既ニ成績ノ完了セルモノハ島メテ普及ノ策ヲ講シタレバ逐次當業者ノ應用スルニ至リ良好ノ結果ヲ奏シツ、アリ本年度ニ於ケル事業ノ大要次ノ如シ

一、試 驗 事 業

成績ノ完了セルモノハ昂メテ之レヲ省キタルモ他ノ作物ト異ナリ短時日ヲ以テ完全ノ成績ヲ擧ゲ能ハザレバ新ニ數種ノ試験ヲ加ヘタルノ外多ク前年度ヲ繼續シタルモノニシテ其成績ノ概要左ノ如シ

一、桃ノ種類試験 本年度ニ於ケル供試ノ品種ハ合計五十一種ニシテ結實期ニ達セザルモノ八品種トス今此等結實品種中樹勢ノ強弱、品質、販路等ヨリ考查シ營利的栽培ニ適當スル品種ヲ示セバ次ノ如シ

早生種 早生種トシテ良品ニ乏シク「アムスデンシユン」ハ最モ有利ナル品種ナレドモ硬化病ノ被害甚シク該病ノ豫防ハ未ダ完全ニ行フ能ハザリシヲ以テ栽培ニ望ナカルベク「グイクトル」種ハ熟期甚ダ早ク六月十三日ヨリ全月二十八日迄ノ期間ニ採收シ該種ハ果形長圓ニシテ淡紅ヲ呈シ風味佳良ナルモ果形ノ小ナル欠点アリ然レモ豊産ナレバ早生種中最モ望アルベク「珠將軍」ハ七月三日ヨリ全月十三日ニテ二收穫シ品質餘リ良好ト云フ能ハザルモ豊産ナレバ栽培シテ可ナルベク然レドモ多少硬化病ノ被害アレバ注意ヲ要ス其他「アドミラルデユウエー」「トライアンブ」等本種ニ酷似シ七月上旬ノ良品少ナキ場合ナレバ收利多シ天津水蜜桃ハ品質ニ於テ不良ナルノ欠点アルモ樹勢強健豊産ニシテ稍貯

藏ニ耐ユルノ特点アレバ交通機關ノ不備ナル避地ニアリテハ栽培シテ有利ナルベキモ餘リ大栽培ハ望マシカラズ「グリーンズボル」ハ果形中ニシテ品質良好豊産ナレバ七月上旬ニ成熟スル良品種ニシテ又黄肉種トシテ罐詰用ニ適當スル品種ヲ前記「珠將軍」「トライアンブ」「アドミラルデユウエー」ノ三種トス

中生種 土用水蜜桃 離核水蜜桃「カルマン」「コンネツツサウザリン」「アローリー」ノ四種ハ何レモ七月中、下旬ニ成熟シ樹勢甚ダ強健豊産品質優良ニシテ收利多キ營利的品種トス土用水蜜桃ハ果形長圓ニシテ色澤青白果肉白色甘酸相適シ甚ダ豊産ナリ離核水蜜桃ハ前種ト酷似ス「カルマン」ニ至リテハ形狀圓形ニシテ外肉鮮紅色ヲ呈シ甚ダ美麗ナリ大サ中果肉白色紅斑粘核ナリ「コンネツツサウザリン」「アローリー」ハ稍長圓ニシテ青白微紅ヲ呈シ大サ中位ニシテ果肉白色紅斑離核ニテ甘酸相適シ漿液多ク品質良好ナリ

晚生種 從來晚生種トシテ最モ有利ナル品種ハ上海水蜜桃ニシテ該種ハ果形豊大品質桃中ノ霸王ナリシモ近來梅子大ノ時期ニ至リ落果多ク本年度ノ如キハ袋掛ケノ八、九割ハ落下セリ其原因ノ未ダ判然セズ從テ該種ノ栽培ハ余程ノ注意ヲ要スベキコトナリ金桃ハ樹勢強健豊産品質亦佳良ナレバ栽培シテ利益

アルベク「エルバルタ」果形長圓甚大ニシテ最大一個三十六匁ニ達シ黄色微黄斑アリ黄肉色ニシテ離核タリ何レニシテモ晩生種ハ八月上旬ニ成熟スルモノナレバ當時既ニ早生梨ノ成熟スルヲ以テ桃果ノ需要ヲ減退スルモノナレバ晩生種ノ大栽培ハ餘リ望マシカラズ

此等良品種ニ付キ一反歩ニ換算シタルノ收量及其ノ價格ヲ記載スベシ

品 種 名	樹 齡	一反歩總量	一顆ノ平均價格	一反歩ノ總收入
ウキクトル	五年生	三二二七個	壹錢貳厘余	參拾八圓貳拾六錢
珠 將 軍	五年生	四三六五個	壹錢四厘弱	六 拾 圓
アドミラルデユウエー	五年生	三三九七個	壹錢壹厘弱	參拾四圓拾九錢
グリンズホル	九年生	一五七三二個	六 厘 弱	九拾參圓八拾六錢
天津水蜜桃	十二年生	一九二七五個	六 厘 余	百拾六圓五拾五錢
土用水蜜桃	五年生	一一六二個	八 厘 余	拾圓四拾六錢
離核水蜜桃	五年生	三三〇七個	七 厘 余	貳拾四圓四拾壹錢
カ ル マ ン	五年生	二八四五個	八 厘 余	貳拾參圓七拾四錢
コンネツツサザリンアーリー	九年生	一八五二五個	五 厘 余	百四圓貳錢五厘

上海水蜜桃	十三年生	七一八五個	壹錢貳厘余	八拾九圓七拾六錢
金 桃	六年生	九三七五個	壹 錢 弱	九拾貳圓參拾五錢
エ ル ベ ル タ	九年生	一四〇二五個	六 厘 弱	七拾九圓貳拾七錢

二、梨ノ種類試験 供試ノ品種ハ合計八十三種ニシテ内西洋種四十二、日本種四十一種ニシテ本邦現在ノ和洋兩種ノ總テヲ網羅セルモ逐年増植シタル品種多クレバ未ダ結實セザルモノ多クアリ洋梨ハ和種ニ比シテ發育甚ダ旺盛ナレバ結實期ニ達スルコト遅ク然レドモ年ノ經過ト共ニ花芽ノ着成佳良ニシテ未ダ嘗テ見ザルノ好成绩ヲ擧ゲタリ

本年度ニ於ケル成績ニ鑑ミ從來ノ成績ヲ綜合シ收量ノ多寡品質等ヲ對照比較スルトキハ左記品種ノ如キハ最モ優良ナルベシ

- 日本梨
 - 早生種 眞 銚
 - 中生種 赤穂、長十郎、二十世紀、太白、國富
 - 晩生種 重次郎、晩三吉
- 眞銚ハ品質餘リ良好ナラズシテ收量多キニアラザルモ早生種トシテ有望ナル

ベク赤種ハ果形小ナルモ豊産色澤良好ナレバ栽培シテ利アルベク長十郎ハ豊
 産品質亦相當ナレバ營利的栽培ニ最モ適シ二十世紀ハ餘リ豊産ナラザルモ品質
 ニ於テ本邦種中之レニ匹敵スルモノナケレバ採用シテ利アルベク然レドモ黒
 点病ノ被害多ケレバ注意ヲ要ス國富太白ノ兩種亦品質甚ダ優良ニシテ豊産ナ
 レバ有望ナルベク重次郎晚三吉ハ晚生種トシテ最モ良品種タリ然レドモ晚生
 種ノ栽培ハ餘程ノ熟慮ヲ要セザルベカラズ何トナレバ縣下ノ氣候タル成熟期
 ニ於テ數度ノ暴風襲來ヲ常トスレバ被害サレ易ク且ツ心喰蟲ノ發生多ク一方
 柿實産出ノ際ナレバ梨ノ需要ヲ減ジ從テ此ノ種ノ栽培ハ利益少ナキモノナリ

西洋梨

「バツスクラツサン」「デュツセスダングングレーム」「カバースハイブ
 ヲツト」「ドクトルジュユールギユイヨイ」「パイトレツト」「ボーレド
 ユビイツリン」

以上ノ數種ハ成績ノ最モ判然セルモノニテ早生種トシテハ「カバースハイブ」
 ヲツト」ニシテ六月二十五日ニ採收シ當時梨ノ如キハ到底市場ニ見ルコト能ハザ
 レバ珍品トシテ高價ニ販賣スルコトヲ得タリ「ドクトルジュユールギユイヨイ」ノ

如キハ七月下旬ニ收穫シ豊産ニシテ品質佳良最モ利益多キ種類タリ然レドモ
 縣下ニ於ケル洋梨ノ需要ハ至テ少ナク從テ市價低廉ナレバ殆ンド全部浦塩市
 場へ出荷シ相當ノ成績ヲ舉グルコトヲ得タリ

三、

葡萄ノ種類試驗 縣下ニ於ケル葡萄ノ優品乏シキヲ以テ良品ノ撰擇ニ勵メタ
 リ本年度供試ノ品種ハ前年度ト大差ナク合計四十二品種ニシテ數種ノ結實期
 ニ達セザルモノアリ各種ノ成績ニ前年度ニ彷彿シ殊ニ梅雨期ニ於ケル雨量甚
 ダ少ナカリシ爲メ病害少ナク良品ヲ産出スルヲ得タリ且又歐羅巴種ノ如キ從
 來成績ノ不良ナルモノニ至ル迄相當ノ結實ヲ見ルヲ得タリ今左ニ品質收量樹
 勢ノ強弱病虫害ノ有無等ヨリ査定シテ營利的栽培ニ適スル有利ノ品種ヲ示ス

早生種

ゼツシカ (白)

樹勢強健病害皆無ニシテ發育中庸垣作ニ適シ果穗及果粒ハ小ナレドモ品質至
 テ佳良ナレバ早生種トシテハ最モ有望ナリ

キヤムベルスアトリー (黒)

前種ニ比シ採收ノ時期稍々後ル、モ八月二十日頃ニ成熟ス該種ハ樹性强健病害少ナク果粒果穗共大ニシテ豊産品質亦佳良ナレバ最モ有利ナル種類トス

中生種

ブライトン (赤)

樹性强健ナルモ餘リ強健ナラズ果穗中果粒ハ大ノ小稍々豊産ニシテ米國種中品質ノ点ニ於テ此ノ種ニ匹敵スルモノナク最モ有望ノ品種トス

コールレン (白)

樹性强健發育中庸病害皆無ナリ果穗及果粒中ニシテ餘リ豊産ナラズ品質前種ニ次ギ優良ナリ然レドモ該種ハ外皮至テ薄ク少シク過熟スルトキハ破裂シ易キヲ以テ遠方ヘノ輸送ハ不可能ナレバ需要地ノ如何ニ注意スルヲ要ス

レデオワシンドン (白)

樹性强健發育可良ニシテ豊産收量最モ多ク果粒中果穗甚ダ大ニシテ至テ美麗ナリ品質良好有望ノ品種トス

ナイヤガラ (白)

病害少ナク果穗果粒中位品質餘リ良好ナラザルモ樹性强健豊産ナレバ栽培シ

テ利益アリ

ハイバート (黒)

樹性强健病害少ナク果粒大ナレドモ果穗ハ中位ナリ産額稍多ク品質優良市價高價ニシテ有利ナル品種トス

晩生種

ハイランド (黒)

樹性稍々強健發育中庸ニシテ結實至テ豊産果穗果粒共大ニシテ甚ダ美麗ナリ品味餘リ良好ト云フヲ得ザレドモ收量多キヲ以テ收利多シ該種ハ晩熟豊産ナレバ不熟果ヲ生ズルコトアレバ磷酸及加里分ヲ多用スベシ

此等良品種ニ對スル一反歩ニ換算シタル收量及其ノ價格ヲ左ニ列記スベシ

品 種 名	收 穫 期	一反歩ノ收量	一貫匁ノ市價	一反歩ノ收入
ゼ ッ シ カ	自八、一三 至八、一六	五七〇、〇〇〇	四拾錢	貳百貳拾八圓
キヤムメルスマーリー	八、二〇	二一六、〇〇〇	參拾四錢	七拾參圓四拾四錢
ブライトン	自八、二〇 至九、二七	三九二、七〇〇	四拾錢	百五拾七圓九錢
コールレン	自八、二〇 至九、二〇	一六六、五〇〇	五拾錢	八拾參圓貳拾五錢

レデーワシントン 八、二七 二八六、二〇〇 四拾八錢 百參拾七圓卅七錢
 ナイヤガラ 自八、二九 二二〇、八〇〇 四拾錢 八拾八圓參拾貳錢
 ハーバート 九、一 三四五、〇〇〇 四拾錢 百參拾八圓
 ハイランド 一〇、二 四七六、四〇〇 四拾五錢 貳百拾貳圓卅八錢

歐羅巴種トシテ結實良好ナリシハ「ブラツクハムボルグ」「マスカットハムボルグ」
 「エング等ナレドモ未ダ露地栽培トシテ望ヲ屬スルコト能ハズ

四、柿ノ種類試験 植後日向淺キト結果樹齡ニ達スルノ期間永キ前年度ニ於テ換
 植セルト兩年度ニ渡リ早天連續セル爲メ發育甚ダ不良ニシテ結實少ナシ供試
 ノ品種ハ四十三種ニシテ就中結實セル品種ハ僅カニ十四種ナリ樹性強健豐産
 ニシテ品質佳良營利的栽培ニ適當スル品種ハ甘柿トシテハ富有、天神御所、次郎
 花御所ノ數種ニシテ何レモ品質優良豐産ナル有望種類タリ就中富有ニ至リテ
 ハ品質極メテ優良ニシテ結果樹齡ニ達スルヲ早ク本年ノ如キハ一本能ク百個
 ノ多數ヲ算セリ(植後八年生)澁柿トシテハ未ダ結果期ニ達スルモノ少ナク衣紋
 ハ結實極メテ豐産ナルモ害虫以外ノ落果甚ダ多ク殆ンド一顆ヲモ止メサリキ
 之レ本場土質ノ不適當ナルガ爲メニテ八名、北設樂、東春日、井郡ノ柿栽培ニ好適

ナル地方ニアリテハ該種ノ結實至テ良好ナリ然ルニ本縣ニアリテハ樽拔用ノ
 良種皆無ナレバ以上ノ土地ニアリテハ最モ有望ナルベシ

柿ハ本縣到ル處栽培ニ適シ其産額亦少ナカラザレモ品質何レモ劣悪ナレバ之
 レガ改良ハ刻下ノ急務ニシテ本場ニアリテハ獎勵スベキ標準種類ヲ定メ正確
 ナル良苗ヲ多數養成シ出來得ル限り多クヲ配布シ以テ品種ノ改善ニ勗メント
 ス

五、枇杷ノ種類試験 供試ノ品種ハ茂木、田中、田村、田邊、早生、内海、石黒ノ七品種ニシ
 テ就中結實セルハ茂木、田中、早生ノ三種ニシテ茂木、田中ノ兩種成績最モ良好ナ
 リ其他石黒、早生ニ於テ多少ノ結實ヲ見タルモ餘リ良好ナラズ

六、櫻桃

ビガロ、ノアダブル 明治四十四年度植付
 ガヴァ、ナイウツド 同
 ナイト、ア、リ、ブラック 同
 ビカロ、ナボレオン 明治三十五年度植付
 ビカロ、ラモンオリワ 同

栽培セルハ以上ノ五品種ニシテ本年度ニ於テ結實シタルハ「ピカロ」ラモンオリワ「ピカロ」ナボレオン「ガヴァ」ナウツドノ三種ニシテ就中「ピカロ」ナボレオン「ガヴァ」ナウツドノ如キハ一本能ク八百九十七粒ノ如キ從來稀ナル良成績ヲ舉ケタリ由來櫻桃ハ本縣ニテ結實不能ト一般ニ認メラレタリシモノナレドモ之レ縣下ノ氣候風土ニアリテハ樹勢甚ダ旺盛ナルガ爲メ結實不良ナルモノニシテ樹齡ノ増加スルニ從ヒ相當ニ結實スルニ至ルベキモ前記良成績ノモノハ「マハレ」ト「グ」砧ナルヲ以テ共砧ニ於ケル成績確然タラズ從テ櫻桃ノ營利的栽培ハ未ダ充分望ヲ屬スルコト能ハズ

七、無花果ノ種類試験 試験ニ供シタルハ合計六品種ニシテ結實最モ豊産ナリシハ「ホワイト」ゼノア「カリ」フオルニヤブラツクノ兩種ニシテ最モ收利多カリキ「グ」リニツシユハ早生種ニシテ品質極メテ良好ナルモ果形小ナレバ收利少ナク從テ營利的栽培ニ適セズ「ホワイト」アドリヤチツク「ブラウン」ダイキ「」ノ兩種ハ夏無花果ノ成熟多ク殊ニ前者ノ如キハ品質極メテ良好ナリ其他ノ品種ハ結實少ナク良否判然セズ

八、李ノ種類試験 栽培ノ種類ハ和洋十四品種ニシテ洋種ハ各種トモ多少結實セ

ルモ收量少ナク品質何レモ不良ニシテ實用ニ適スルモノ絶無タリ日本種ニアリテハ寺田種ハ果形大ニ品質良好豊産ニシテ最モ有望ナル種類ナレドモ其他ハ産果少ナク品質不良ニシテ何レモ栽培ニ適セズ

九、植付ノ深淺試験 植付ノ深淺ハ果樹ノ發育結果ニ如何ナル關係ヲ及ホスカヲ驗センガ爲メニ梨及桃ノ兩種ニ付キ連續試験ヲ行ヒタルモノニシテ本年度ノ成績ハ桃ニアリテハ淺植區最モ數量多ク普通區之レニ次ギ一尺區殊ニ不良ナリサレバ普通二三寸植ヲ以テ成績可良ナルベク五寸以上ノ深植ヲナスコトハ絶對ニ避ケザルベカラズ梨ニアリテハ普通及淺植ノ兩區ハ餘リ成績可良ナラズ一尺ノ深植區ニ至リテハ最モ不良ノ成績ヲ舉ケ五寸及八寸ノ兩區ヲ上位トスルガ故ニ梨ノ植付ハ五寸ヨリ八寸ヲ採用スルヲ可トス然レドモ植付ノ深淺ハ位置及土質ノ如何ニ考慮シ充分斟酌スルヲ要ス

一〇、整枝試験 本年度ノ成績ハ前年度ニ於ケルト大差ナク桃ニアリテハ鳳尾狀及「カン」デラブルハ概シテ成績不良ニシテ殊ニ多クノ品種ハ下枝ノ枯損多ク到底充分ナル收穫ヲ見ル能ハズ只上海、土用、天津等ニアリテハ相當ノ成績ヲ舉ケ得ルモ營利的栽培トシテハ是非共盃狀形ヲ採用セザルベカラズ

梨ハ數種ノ異ナリタル垣作中何レモ相當ノ成績ヲ擧ゲタルモ水平狀殊ニ良好ナリ之レ等垣作ハ勞力ノ經濟宜敷モ一層ノ技術ヲ要スルコト樹齡ノ増加スルニ從ヒ上下主枝ノ果實不揃ノ欠点アリ棚作ハ作業ニ不便ナルモ整枝容易ニシテ風害少ナク產額多ク梨整枝中最モ適當ナル方法タリ自然形ハ材料ヲ要サズ各種ノ勞作容易ニシテ產額亦相當ナルモ暴風ノ被害激甚ナレバ早生種ノ外ハ採用セザルヲ得策トス葡萄ハ棚及垣作ノ兩方ニシテ何レモ成績佳良ナルモ收量ノ点ニ於テハ概シテ棚作ノ方良好ナリ且又發育旺盛ナル品種例令「カトーバ」甲州種ノ如キヲ垣作ニナストキハ收量至テ少ナク之レニ反シ棚作ノ場合ハ甚ダシク收量ヲ增多スルモノナリサレバ發育盛ナル種類ハ棚作ヲ可トス其他ノ果樹ニアリテハ先レモ盃狀形又ハ自然形ヲ以テ成績最モ良好ナリ

一一、桃ノ綠枝剪定試験 桃ニ於ケル綠枝剪定ノ適否ハ花芽ノ着生シ如何ナル關係ヲ有スルカニ付キ試験シタルモノニシテ其成績ノ大要ヲ綜合結論スルニ新梢ノ旺盛ナルモノハ五月上旬ニ摘心シニ番枝ヲ發生セシメ之レヲ結果枝タラシメントスルハ一見良好ノ結果ヲ奏スルガ如キモ結果枝最モ微弱ニシテ結果ノ見込ナクサレバ如斯場合ニ捻曲ヲ行フトキハ充實セル結果枝ヲ得ベク且又

莖部附近ヨリ發生セル結果枝ヲ以テ更新セシムルノ便法アリ然レドモ強ヒテ摘心ニ番枝ヲ相當ノ結果枝タラシメントスルニハ新梢ノ梢木質化シタル五月下旬乃至六月上旬ニ四五葉ヲ殘シ摘心スルトキハ目的ヲ達スルニ近カルベク捻曲ハ勢力ノ旺盛ナルモノニ於テ最モ適當ナルベク普通ニ發育セル新梢ニアリテハ六月上旬頃組織ノ稍木質化シタルトキ一尺内外ニ摘心シ再ビ發生シタルニ番枝ハ七月頃再度ノ摘心ヲ必要トス主枝ヨリ或ハ幹部ヨリ發生セル徒長枝ヲ放置スルトキハ到底良好ナル花芽ノ出來得ルモノニアラザレバ周圍ニ結果枝ノ多キ場合ハ基部ヨリ除切シテ差支ナク少ナキ場合ナレバ捻曲法ヲ以テ最モ得策ナルベシ

一二、果樹苗木ノ植付時期試験 苗木ノ植付時期ハ發育ニ如何ナル關係ヲ有スルカヲ試験シタルモノニシテ供試ノ種類ハ桃及梨ヲ使用シ試験ノ區別ハ十一月ヨリ四月ニ渡リ各月十五日ニ植付兩種共各六區トナス秋期掘採リタル成績ニヨレバ桃ニアリテハ十一月及十二月植ノ兩區最モ成績宜敷三月植之レニ次ギ二月植最モ不良ニシテ寧ロ四月植ノ方良好ナリ梨ニアリテハ略ボ桃ト同一ナルモ四月植最モ不良ナリサレバ兩種共出來得ル限リ十一月、二月ノ候ニ植付不可

能ナル場合ハ三月ニ行ヒ其他ノ時期ニハ決シテ行フベカラズ

一三、肥料試験 葡萄ノ磷酸効驗試験ニアリテハ磷酸分ノ増加スルニ從ヒ房及收量ヲ増加シ最犬一房ノ重量ニ至リテハ却テ磷酸分ノ少ナキモノニ於テ多キヲ來セリ之レ收量ノ少ナキヲ以テ粒及房ノ大ナル所以ニシテ殊ニ熟度及甘味ノ多少ニ至リテハ磷酸分ノ多キニ從ヒ成熟ヲ早カラシメ糖分ヲ増加シ品質ヲ佳良ナラシムルモノナリサレバ葡萄ニ對スル磷酸分ノ多用ハ收量ヲ増加シ品質ヲ佳良ナラシムルニ至大ノ關係アレバ配合ニ注意シ該成分ノ不足ナカラシムルヲ要ス

苗木ノ磷酸及加里効驗試験ニアリテハ桃及梨ヲ採用シ兩種トモ九區ニ別チ磷酸加里ノ分量ヲ異ニシ秋期掘リ取後ノ成績ニヨレバ梨ハ加里分ノ多キ程莖短細ニシテ緊リ健全ニシテ根ノ發育良好ナリ其適量ハ十本ニ對シ葉灰二升乃至三升トス磷酸分ノ多キハ鬚根ノ發生左程ノ相違ヲ認メズ
桃ニ對スル加里分ノ効驗ハ普通肥料區ニ比シ稍良好ナルモ梨ニ於ケル如ク成績顯著ナラズ之レニ反シテ過磷酸石灰ノ量多キニ從ヒ其發育短細ニシテ固ク緊リ細根ノ發生可良ニシテ効力大ナリ

梨ニ於ケル各種肥料ノ試験ハ本年度初メテ施行シタルモノナレバ成績判明セズ

一四、葡萄ノ炭疽病豫防試験 本病ノ豫防試験ハ既ニ數年間ノ試験ニヨリ完了セルモ夫等成績ノ良好ナルモノハ發葉當時ヨリ數回ニ涉リ藥劑ヲ撒布スルモノナレドモ本試験ハ此等藥劑撒布ノ回數ヲ減センガ爲メニ落花後及果實ノ豆大ニ發育セルトキノ二回ニ三斗式石灰「ボルドー」液ヲ撒布シタルニ殆ンド豫防スルコトヲ得タレバ一般營業者ハ從來ノ如ク回數ヲ多クスルノ必要ナカルベシ

一五、無花果炭疽病豫防試験 洋種「ブラウンターキー」ハ夏無花果ヲ産スルコト甚ダ多ク其品質極メテ優良ナレドモ炭疽病ノ被害多ク累々タル美果悉ク落下シテ一顆ヲモ止メザルヲ以テ之レガ豫防トシテ石灰硫黃合劑及「ボルドー」液ヲ撒布シタルニ三月十六日石灰硫黃合劑四月十五日及二十九日ノ二回ニ三斗五升式石灰「ボルドー」液ヲ撒布シタルモノ最モ効力顯著ニシテ落果甚ダ少ナシ三月十六日ニ於テ石灰硫黃合劑ヲ撒布シタルモノハ全果ノ五分ノ一ヲ留ムルヲ得タリ

一六、柿果蠹虫藥劑豫防試験 從來柿果蠹虫ノ驅除トシテハ袋掛ケヲ行ヒタルモ

之レニ代ルベキ藥劑撒布ノ効力如何ヲ試驗セリ使用ノ藥劑ハ次ノ如シ

一、札 幌 合 劑

二、石灰硫黃合劑(十倍液)

三、亞砒酸加用「ボルドー」液

四、パリスグリーン加用「ボルドー」液

供試ノ種類ハ富有ニシテ撒布ノ時期ハ第一回ヲ七月一日ニ第二回ヲ七月十四日ニ行ヒ其後果實及葉ニ對スル藥劑ノ被害程度ヲ調査シタルニ札幌合劑ハ葉ニ輕微ノ被害アリ石灰硫黃合劑ニアリテハ葉ノ被害甚シク赤褐色ノ大斑紋ヲ生ジ捲縮セルモノ甚ダ多シ亞砒酸區ハ被害甚シク落果落葉多シ「パリスグリーン」區ハ葉ニ輕微ノ被害アリタリ
但シ石灰硫黃合劑及亞砒酸區ハ葉ノ被害多キ爲メ二回撒布ヲ中止ス
收穫成績ヲ示セバ次ノ如シ

藥劑名	撒布回数	撒布當時ノ果數	收穫果數	落果比率	備考
パリスグリーン	一	一一二	七八	五六%	
同	二	五〇	三九	二二%	

札 幌 合 劑 一 五七 四二 二六%

同 二 一〇一 七四 二七%

石灰硫黃合劑 一 四〇 二三 四二%

同 一 九九 六三 三六%

亞 砒 酸 一 九九 四二 五七%

同 一 一〇〇 五 五%

落果ノ二割餘ハ藥劑ノ爲メナリ
落果ノ九割ハ藥劑ノ爲メナリ

一七、金龜子驅除試驗 果樹殊ニ栗葡萄ニ對シ金龜子ノ發生激甚ヲ極メ之レガ驅除ノ方法トシテ捕殺スルノ外良法ナク爲メニ非常ノ勞力ヲ要スルヲ以テ左記設計ニ基キ試驗ヲ行ヒタリ

第一區「パリスグリーン」五匁ヲ水五升ニ溶解シタルモノ

第二區亞砒酸四匁ヲ水三升ニ溶解シタルモノ

第三區「パリスグリーン」三匁石灰五匁水三升ヲ混合溶解シタルモノ

第四區「パリスグリーン」二匁二分ヲ三斗式「ボルドー」液三升ニ溶解シタルモノ

供試ノ種類ハ栗日岸及丹波ノ兩品種ニシテ八月十一日ニ撒布ス當時供試樹ニハ多數ノ金龜子附着セリ撒布後二日目ニテ調査シタルニ各區トモ害虫非常ニ

減少シ五、六日後ニ至リテハ被害皆無ノ有様ニテ其後一ヶ月ヲ經過スルモ殆ン
ド襲來スルコトナク完全ニ豫防スルコトヲ得タリ各區ノ効力ニ付テハ差シタ
ル相違ノ点ヲ認メザルモ第三及第四ノ兩區成績最モ良好ニシテ第一及第二區
稍々不良ノ傾向ナリ

一八、 蓑虫驅除試驗 果樹害虫中驅除ニ於テ最モ至難トスル處ノモノハ蓑虫ニシ
テ其被害甚ダシキモノナリサレバ亞砒酸及「バリスグリーン」ノ毒劑ヲ以テ枇杷ニ
於ケル蓑虫ヲ驅除シタルニ多少死滅セルモノアルモ到底全部ヲ驅除シ能ハザ
リキ本試驗ハ翌年度ニ於テ綿密ノ試驗ヲ行ヒ充分ナル驅除ノ方法ヲ講究スル
處アルベシ

一九、 温州蜜柑苗木瘡痂病豫防試驗 供試ノ種類ハ温州蜜柑二年生ニシテ撒布セ
ル藥劑ハ四斗式石灰「ボルドー」液ニシテ其成績ハ五月十四日及五月二十四日ノ
二回撒布區ニアリテハ殆ンド被害ナク枝葉ノ發育良好健全ニシテ根ノ狀態亦
可良成績最モ優良ナリ次ハ五月四日及五月十四日ノ二回撒布區ニシテ前者ニ
比シ稍々劣ルモ完全ニ病害ヲ豫防スルコトヲ得タリ五月四日一回撒布區ハ充
分豫防シ能ハザルモ標準區ニ比シ數等ノ優位ヲ占ム

二〇、 新品種作出試驗 桃及梨ノ兩種ニ付キ各品種ノ花粉ヲ交媒シ熟果ヲ收穫播
種シ又前年度ニ於テ播種シタルモノハ嫁接ヲ行ヒ充分ニ培養セリ

一、 果樹園ノ手入及整理

五、六月ノ頃ハ害虫ノ發生最モ盛ナル時期ナレバ之レガ驅除豫防ニ最メ摘果袋
掛ケヲ行ヒ六、七月以後ハ綠枝剪定ニ注意シ各種ノ收穫ヲ行フト同時ニ果實及
枝梢ノ特性ヲ綿密ニ調査シ產品ハ出來得ル限リ各地ニ販出シ荷造ノ方法及販
路ノ研究ヲナシ剪定ハ各種ノ接穗用ヲ除キ十二月上旬ヨリ初メ中旬ニ於テ全
部ヲ終了ス此ノ際見習生及當業者ニ對シ懇切指導ヲナス棚作及整枝果樹ハ腐
朽シタル柱及竹ヲ取換ヘ葡萄ハ發育ヲ佳良ナラシムル爲メ外皮ヲ剝脱シ桃及
梨ノ古木ハ叮嚙ニ幹部ヲ磨擦古皮ヲ剝除シ以テ潜伏セル害虫ヲ驅除シ然シテ
土壤ノ風化作用ヲ促進セシムルト同時ニ害虫驅除ノ目的ヲ以テ園内一面ヲ耕
起シ病虫害驅除豫防ノ爲メニ果樹園全部ニ對シテ石灰硫黃合劑ヲ撒布シ其他
除草柑橘類ノ防寒等叮嚙ニ施行セリ一號園甲區ノ西排水溝ニ接セル西洋梨ハ

成績不良ノ故ヲ以テ全部掘採シ葡萄園内ノ不良種ハ出來得ル丈良種ト取換ヘ
又一號園甲區ノ珠將軍ハ硬化病ノ被害甚シキヲ以テ掘拾テ春期嫁接セル各種
苗木ハ十一月ニ至リ全部ヲ掘取リ一々請求者ニ對シ配布ノ手續ヲ了シ漸次配
布ヲ行ヘリ

三、果實ノ加工

果實ノ生産過多ナル場合ニ於テハ果實ノ加工ヲ行フノ必要アレバ各種ノ方法ニ涉
リ施行セントセシモ設備不完全ナルガ爲メ本年度ニアリテハ罐詰ノミヲ行ヒタリ
其種類及製罐數次ノ如シ

- 夏橙(ジャム) 一六一封
- 桃砂糖漬 一五八封
- 金柑砂糖漬 一四封
- 蜜柑砂糖漬 六封
- 梨砂糖漬 一一封
- 須具利ヂエリ 八封

製品ハ市場ニ試賣シ販路ヲ講究セリ

四、委託試験

本年度ニ於テ試験地設置ノ目的ヲ大部完了セル左記ノ個所ヲ廢止セリ

柑橘ノ剪定肥培ニ關スル試験 碧海郡明治村字根崎

柑橘ノ剪定及培養ニ對スル模範栽培 知多郡上野村字荒尾

同 豊橋市字花田

桃ノ品種及模範栽培 西春日井郡新川町

以上ノ四ヶ所ヲ廢シ新ニ一ヶ所ヲ設置シ其試験地及個所左ノ如シ

柑橘ノ剪定及培養ニ對スル模範栽培 四ヶ所

柑橘苗木病虫驅除ニ關スル試験 一ヶ所

此等試験地ハ一ヶ所ヲ除ク外ハ何レモ數年間ヲ經過シタレバ各所共成績至テ佳良
ニシテ試験設置ノ趣旨ニ叶ヒ直接間接ニ斯業ノ發展ヲ助長シ非常ノ好成绩ヲ舉ク
ルコトヲ得タリ又試験地ノ剪定肥培病虫驅除豫防等ハ綿密ニ施行シ且其都度島
メテ部内當業者ヲ集メ之レヲ目撃セシメ實地ニ指導シ以テ斯業ノ改良發展ニ一層

努力セリ

五、家庭果樹園

前年度迄ニ設置シタル家庭果樹園ハ十二ヶ所ニシテ本年度新ニ一ヶ所ヲ新設シ合
計十三ヶ所トス既設ノ果樹園ニアリテハ多クハ園主ノ培養手入ニ熟達シタレバ只
二三ノモノニ付キ指導シタルニ過ギズ

概設果樹園中ニテ二三成績ノ不良ナルモノアルモ其多クハ園主ノ熱心之レヲ經營
セルノ結果何レモ成績良好ニシテ設立ノ趣旨ニ叶ヒ偉大ノ効果ヲ奏セリ其他農村
宅地ノ改良風絶ノ改善等直接間接ニ豫想ノ効果ヲ奏スルコトヲ得タリ

六、花卉及温室

各種花卉ノ種類ヲ出來得ル限リ多數ヲ蒐集シ前年度三月花壇ニ付植付タル種類ハ
四五月頃美花爛熳トシテ參觀者ニ非常ノ趣味ヲ興ヘタリ又三月ニ蒔付タル春蒔種
子ハ數度ノ植換ヲナシ晚春各花壇ニ植付培養手入ニ注意シ秋期ノ各種ノ競フテ開
花少ク亦一層ノ風致ヲ添ヘタリ且又秋蒔種子ハ苗圃ニ下種シ今ヤ整然ト移植ヲナ
シ發育極メテ可良ナリ各種ノ種子ハ出來得ル丈ケ多數ヲ採收シ別項記載ノ如ク各

方面ニ配布セリ

前年度三月ニ竣工シタル花卉温室ヘハ左記ノ各種ヲ集メ培養手入ヲ怠ラズ今ヤ美
花爛熳トシテ非常ノ美觀ヲ沿ヘ衆目ヲ惹クニ至レリ

シネラリヤ	ベコニヤハイブリダ	ベゴニアアージロスデイグア
フアラングアム	ネプロレビスアーシヤリ	ネプロレビスホワイトマテ
チブルレビスホストニエンシス	ネプロレビスシユロゼリ	バインアワブル
マンゴ	クロト	タマシダ
ボーゲンベリアサンデリアナ	アジアンタム	ランタナ
アスマラガスブルモサスナ、ス	ボインセテイア	アンドロビニウムクリリト
シヤコベルニアベルチアナ	サンセザイヤシリンドリカ	モスコスマ、リバリユーム
フィカスエラストイカ	ミルタスコンミュニス	コリウス
トラヤスカンテイアセアリア	アカリファ	ヘリオナ
ヒビスカスガラシテイフロラールノブラ	ヴァイテイスヘンリ	ビビスカスロササイチンシア
クレロテンドロンヴァルフオーリ	ヘリオトロイブ	アブテイロン
セイロンベンケイソ	ネベンセスフイケリアナ	シクラメン

プランバコ
 アスランダーヘンダーソン
 オキザリス
 クリプタンザスベシオサム
 コルチカムオノタムナルアルバム
 ヒヤシンス
 ドラセナループラストリアダ
 コ、スオーストラリス
 グロキシニヤ
 フオエニツクスカナリエンシス
 蝙蝠閣
 時計草
 キヤリオブテリスハイブリダ
 ゼラニユーム
 バンダナスグイッチ
 コルチカムバイザンチユーム
 コーティライングイグイハラ
 ドラセナゴールデアナ
 イクシヤ
 セントボリア
 フオエンツクスステスイス
 アレカルーテンセス
 蓬葉蕉
 臺灣藤
 プリムラオーリキユラ
 アマランタアルデアナセア
 クリプタンザスソナタス
 コルチカムグアリエザード
 ヤツカ
 フリージャ
 アリストロジアエンガンズ
 リグイスインアサイチンシス
 フオエニツクスビエーミク
 紫万年青
 番石榴

葡萄室ニハ四月上旬ニ於テ左記ノ品種ヲ植付培養ニ充分ナル注意ヲセシカバ夏季ノ發育甚ダ良好ニシテ十二月下旬容易ニ落葉セザリシカバ全部ヲ摘除シ剪定ヲ行ヘリ

プラツクハムボルグ
 クロースルコン
 ゴールデンクイン
 マスカットハンボルグ
 プラツクアリカンド
 フオースターインードリング
 マスカットオブアンキサンドリア
 マラガマスカテラ

七、種苗配布

果樹栽培上優良ナル苗木ノ缺乏ハ斯業ノ發展ヲ阻害スルコト甚シク之レガ良苗ノ供給ハ目下ノ急務ニシテ本場從來苗圃狹隘ナレバ果樹ノ間作トシテ養成シタルモ果樹ノ成木ト共ニ此等間作ノ不可能ナレバ養成スル本數極メテ少ナキヲ以テ正確ナル接穂ヲ中島郡信用アル栽培者ニ交附シ養成方ヲ依囑シ出來得ル丈ケ多數ヲ養成セリ

花卉類ハ春蒔及秋蒔共多量ニ採種シ學校其他ノ請求者ニ對シ配布シ島メタリ本年度ニ於テ配布シタル種類及數量左ノ如シ

果樹苗木
 種類
 接木本數
 養成本數
 配布本數
 試驗用

梨	二、五七五*	二、二九七*	二、二五〇*	四七*
柿	三、三九三	一、八四七	一、六八四	一六三
桃	三、二七三	一、八一	一、七九七	一四
枇杷	九〇〇	六二八	五九四	三四
梅	一、〇〇〇	五〇〇	三六三	一三七
無花果	六七四	三三九	二二三	一一六
葡萄	四、七二四	二、九六二	二、二八二	六八〇
李	一四〇	八六	七〇	一六
莓	一、五〇〇	一、五〇〇	二八〇	一、二二〇
合計	一八、一七九	一一、八七〇	九、五四三	二、四二七
草花種子				
種類	袋數	種類	袋數	
金雞菊	三〇〇	宿根金雞菊	二〇〇	
雛菊	二〇〇	雛けし	三〇〇	
牡丹罌粟	四〇〇	蔓櫻草	三〇〇	

勿忘草	三〇〇	貝細工	二二〇
金盞花	一一〇	三色堇	二二〇
花菱草	二二〇	四季撫子	三八〇
金魚草	一五〇	花苗	三五〇
矢車草	一〇〇	孔雀草	一五〇
百日草	三五〇	朝顔	一〇〇
白玉葵	二〇〇	鶏頭	五〇
松虫草	一五〇	鳳仙花	一五〇
金蓮花	一二〇	飛燕草	一〇〇
セネーシオン	三〇〇	アムモビユム	一二〇
ロベリヤ	二六〇	シヨルダークリフォルニヤ	三〇〇
フロックスドラモンデー	一二〇	ヂギタリス	五〇
スタチツク	三〇〇	スキートピース	二一〇
カムバニユトラ	二七〇	リナリヤ	二二〇
リムナンテス	三〇	ビスカリヤ	二一〇

アラセイトウ	五〇	サルビグロツシス	一〇〇
サルヒヤ	一七〇	アスタ	一五〇
スキートアライサム	一〇〇	ベチユニア	一五〇
アゼラタム	一五〇	コスモス	三五〇
ハルシヤギク	三五〇	ストツク	一〇〇
カーネーション	五〇		
合計	四十七品種	九千袋	

蔬菜

一、試験事業

- 一、胡瓜品種試験 優良種十二種ヲ蒐集シ施行セリ其結果聖護院大阪節成三尺收穫最モ多ク形状色澤等ニ於テ優秀ナリシハ毛馬大長鈴成聖護院ナリキ
- 二、胡瓜病害豫防試験(其一) 前年度ニ引續キ施行シ各種豫防劑効驗ノ度ヲ比較セントスルモノニシテ本年度ハ栽培ノ初期害虫ニ犯サレ爲メニ充分ナル成績ヲ得ル能ハサリシモ炭酸銅アンモニヤ三斗式「ボルドー」液効果最モ多キヲ認メタ

リ

- 三、胡瓜病害豫防試験(其二) 「ボルドー」液撒布ノ回数ト効驗ヲ比較スル爲メ前年度ニ引續キ施行セシモノニシテ五回撒布區最モ優リ四回次ギ無豫防區最モ不良ナリキ
- 四、南瓜品種試験 前年度ヨリ數種ヲ減ジ十二種ヲ以テ施行セリ其結果收量ニ於テハ、ジキ、須賀、御器所、品質ニ於テハ松江、優良ニシテ殊ニ早生南瓜トシテ神戸種亦良種ナルヲ認メタリ
- 五、南瓜摘芽法試験 前年度ニ引續キ施行セシモノニシテ收量最モ多キハ「四枝ヲ出シ」更ニ「四枝ヲ出シタルモノ」之ニ次グハ「四枝ヲ出シ摘芽セザルモノ」ニシテ前年度ト稍ヤ異リタル結果ヲ呈シタリト雖モ概シテ著ルシク頻繁ニ摘芽ヲナスト却テ勢力ヲ減退セシメ收量ヲ少ナカラシムルモノナルガ如シ
- 六、南瓜花粉媒助法試験 天候ト受精ノ關係ヲ知ランガ爲メ諸種ノ操作ヲ施シ雨天ニ人工媒助法ヲ行ヒシモ全部不結果ニ終レリ然レドモ施行ノ方法未ダ十分ナリト言フヲ得ズ依テ更ニ試験ヲ進メ以テ完成ニ努メントス
- 七、蕃茄整枝法試験 整枝ノ方法ト收量ノ關係ヲ知ランガ爲メ左ノ試験區別ニ依

リ施行セリ

- 一、主枝一本整枝 定植株間 七 寸
- 二、同 二本整枝 同 一尺四寸
- 三、同 三本整枝 同 二 尺
- 四、同 四本整枝 同 二尺五寸
- 五、同 五本整枝 同 三 尺

右試験ノ結果優秀ナリシハ第一並ニ第五之レニ次クハ第三區ニシテ第二第四ハ却テ收量少ナキヲ認メタリ

八、茄子畦巾及株間廣狹試験 收量最モ多キハ畦巾二尺株間一尺五寸ニシテ畦巾二尺株間二尺ノモノ之レニ次ゲリ

九、茄子整枝法試験 右試験ニ依リ整枝方法ノ茄子收量ニ及ボス結果ハ個數ニ於テハ四枝ヲ出シタルモノ最モ多ク三枝ヲ出シタルモノ之レニ次ギ貫數ニアリテハ二枝ヲ出シタルモノ最モ多ク四枝ヲ出シタルモノ之レニ次ゲリ

一〇、西瓜品種試験 收量ニ於テハ「トムワツトソシ」「三方原冬瓜西瓜」當場「アイスクリーム」等ニシテ品質ニ於テハ當場「アイスクリーム」三保「アイスクリーム」傳法

寺ナリトス要スルニ以上ノ各品種ハ何レモ優良品種ヲ認ムルヲ得タリ

一一、玉蜀黍品種試験 種子中蟲害ニ犯サレシモノ多シ爲メニ發芽不齊トナリ完全ニ施行スルヲ得ザリシト雖モ在來種(寺野早生、全中生、全晩生)ヲ以テ最モ優良ナルモノト認メタリ

一二、牛蒡施肥期試験 本試験ハ施肥期ト抽苔ノ關係ヲ驗知セントスルニアリシモ圃場ノ都合ニ依リ春蒔ニセシ爲メカ各區共抽苔ヲ見ズ爲メニ目的ノ試験ヲ遂行スルニ至ラザリシヲ以テ更ニ續行以テ試験ノ完成ヲ期セントス

一三、茄子改良試験 本試験ハ人爲的淘汰ニヨリテ結實數ノ増進ヲ目的トシ連續施行セントスルモノニシテ其成績ニヨレバ最モ結果多キ母本ヨリ採種セシモノハ最モ多ク結果ヲ生ムモノナル事實ヲ認メタリ

一四、胡瓜改良試験 前試験ト同様ノ目的ヲ以テ本年度ヨリ開始セシモノニシテ各母本ノ結果數ヲ調査シテ採種シ來年度ヨリ本試験ノ施行ニ資セントスルニアリ

一五、牛蒡連栽試験 連作ニ對スル藍粕ノ効驗ヲ試験セントスルモノニシテ本年其第二年ヲ施行セシモノナリ其結果藍粕二百貫施用セシモノハ輪作ニ依ルモ

- ノト品質收量色澤共ニ遜色ナキヲ認メタリ
- 一六、 欸冬病害豫防試験 近來地方ニ於テ最モ猖獗ヲ極ムル萎縮葉枯病ニ對スル「ボルドー」液ノ効驗ヲ驗知セントセシニ本年ハ各區共該病ノ著ルシキ發生ヲ認メズ尙來年度繼續施行セントスルニアリ
- 一七、 宮重大根尻細尻丸比較試験 切干製造ノ際ニ於ケル兩種ノ優劣ヲ比較セントスルモノニシテ尻細ニ比シ尻丸ノ乾燥歩合多キヲ認メタリ
- 一八、 葱畦幅株間廣狹試験 畦幅ニアリテハ二尺株間ハ一寸乃至二寸ノモノ最モ收量大ナルヲ認メタリ
- 一九、 甘藍品種試験 甘種ヲ以テ施行セリ其結果早生ニアリテハ「アローリースプリング」オールハート「晚生種ニアリテハ「バンダズ」成績優秀ナリキ
- 二〇、 花椰菜品種試験 試験施行中未ダ結了ヲ見ズ
- 二一、 玉葱品種試験 前年度ニ引續キ施行セルモノニシテ佛十號、全十一號、本場黃「エコースキ」等優良ナル品種ト認メタリ
- 二二、 玉葱畦幅株間廣狹試験 試験ノ結果收量最モ多キハ一尺畦巾六寸株間ノモノナリキ

- 二三、 葱病害豫防試験 試験施行中未ダ結了セズ
 - 二四、 塘苧種類試験 中穂ノ爲メ充分ナル成育ヲ見ズニ終リ收量ノ成績ヲ見ルニ至ラザリシモ「ソリツトホワイト」下ノ一色種ノ如キハ性強健ナル品種ニシテ「ホワイトブルーム」「スイホホワイト」種ノ如キハ白色種ニシテ優良ナル品種ナリト斷定スルニ難ラズ
 - 二五、 塘苧病害豫防試験 生育不良ノ爲メ不得已本試験ヲ中止スルニ至レリ
 - 二六、 豌豆連栽適否試験 藪灰ヲ以テ豌豆ヲ連栽シ其ノ効驗ヲ驗知セントスルモノニシテ本年度既ニ第三回ヲ重ネタリ其結果各區共成育旺盛ナラザレドモ無施用區ノ比較的生育佳良ナルニ比シ百貫施用區五十貫施用區ノ成育之レニ劣ルノ奇異ナル結果ヲ呈セリ尙將來連續施行シ以テ本試験ノ正確ヲ規セントス
 - 二七、 江南竹肥料試験 前年度ニ引續キ施行セシモ栽植後日尙淺ク成績未ダ判然タラズ
- 以上試験ノ外蘿蔔品種試験、方領大根改良試験、全比較試験、蕪菁比較試験、白菜品種試験、全三要素適量試験、全施肥量増減試験、全播種期試験、全改良試驗等施行セシモ害虫ノ被害甚ダシク爲メニ不得已中止スルニ至レリ

二、試作

款冬、土當歸、石刀拍、菜豆、刀豆、鵲豆、落花生、枝豆、梨瓜、胡瓜、甜瓜、越瓜、冬瓜、偏蒲、糸瓜、觀賞南瓜、茄子、番茄、甘藍、花椰菜、菜菔、蕨類、蒺藜草、パリスレー、塘蒿、茼蒿、甜菜、蒲公英、野蜀葵、大黃、葱頭、葱、百合、蕨、繭蓬、朝鮮蓴、オクラ、フエンチル、水前寺菜、陸山葵、薑、料理菊、番椒、恭菜、午葵、胡蘿蔔、薯蕷、青芋、甘藷、馬鈴薯、菠蘿門參、亞米利加防風、菘、蓼、菊芋、ストック、金蓮花、菱荷、玉蜀黍、セージ、分葱、芥菜、韭菜、番杏、蕪菁、紫蘇、シーケル、カトニツブ、チユリイクレス、山椒、タイム、ニンニク、マルチニアマイジョラン、ルイマスタード、ペツパー、等七十八類三百三十七種ヲ試作シ優良ト認メタルモノハ採種増殖ヲ圖リ種苗ノ配付ニ努ム

三、輪栽標準栽培

四十三年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ全面積四反八畝歩ヲ二十四ニ區劃シ各區二畝歩宛トシ七年輪栽五年輪栽ニ別チ輪栽ノ方法並ニ其栽培ノ標準ヲ示シ且ツ經

濟上ノ調査ヲ爲サントスルモノニシテ之レニ栽培スル蔬菜ハ縣下重要ナルモノ及試驗ノ結果優良ト認メタル品種ヲ以テセリ本年栽培セルモノ左ノ如シ

五年輪栽

區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	葱頭	南瓜	薑	小蕪菁
第二區	麥	南瓜	鵲豆	方領大根
第三區	麥			
第四區	麥	胡瓜		山東白菜
第五區	十月時甘藍	葱		芝罘白菜
七年輪栽				
區別	冬作	春作	夏作	秋作
第一區	葱頭	青芋		美濃早生大根
第二區	麥	甘藷		宮重大根
第三區		胡蘿蔔		葱
第四區	麥	茄子		蒺藜草

- 第五區 麥 西 瓜 芝 菜 白 菜
- 第六區 豌豆 葱 六月 蒔 甘 藍
- 第七區 麥 蕃 茄 開 城 白 菜

以上ノ外石刁拍欸冬土當歸ノ累年作物ヲ栽培ス
 就中收益多カリシハ欸冬土當歸三寸胡蘿蔔西瓜鵲豆甘藍葱胡瓜蕃茄等ニシテ蘿蔔
 及菘類ハ呀蟲ノ發生激甚ニシテ其收益最モ少ナカリキ

四、促成栽培

一、マスキメロン種類試験 亞米利加種七種ヲ以テ施行ス其成績最モ良好ナリシ
 ハヘンダートンヌスアトリマーハツケンサツクヲ首位トシテイッブトツブヘンダ
 ートンヌスアトリマーケット等亦徒顆確實ニシテ收量多カリキ

一、蕃椒種類試験 宮崎種マグナムドルス大甘天狗ノ三種ヲ以テ施行ス其成績ハ
 マグナムトルス大甘天狗共ニ強健豐産ナルモ鹹形獅子形ニシテ市場ニ於テ嫌
 忌セラレ一顧ノ價值ナシ獨リ宮崎種ハ草勢最強ト云フニアラザレドモ矮性種
 ニシテ其鹹類ハ京阪市場ニ歡迎セラレ促成栽培用品種トシテ最モ良好ナリ

一、補助材料試験 綿屑ヲ主材料トシ九種ノ補助材料ヲ使用施行ス其成績ハ甘藷
 蔓馬尿區最モ高温ヲ持續シ大根枯葉鶏尿乾草山羊尿人尿ト順次發熱温度低ク
 豚尿牛尿最モ劣レリ

一、主材料試験 五區ヲ以テ施行ス發熱狀態良好ニシテ永ク高温ヲ持續セルハ椰
 子粕麥酒粕ニシテ麥馬鹿糠之ニ次ギ牛尿馬尿ハ踏込ノ初期ハ稍高温ヲ發スル
 モ温度持續セザルノ嫌ヒアルヲ以テ兩者ハ適宜綿屑ト混用スルヲ可トス

一、綿屑及藁ノ多少試験 四區ヲ以テ施行ス其發熱狀態良好ニシテ永ク高温ヲ持
 續セルモノハ綿屑八十貫藁十五貫ヲ使用セルモノニシテ是レヨリ綿屑ヲ減ジ
 又ハ藁ヲ増加セルモノ共ニ前者ニ劣ルノ結果ヲ呈セリ因リテ綿屑八十貫藁十
 五貫ヲ以テ茄子ノ定植用温床トシテ妥當ナルモノト云フベシ

一、石灰加用効顯試験 三區ヲ以テ施行ス其成績ハ積算温度ニ於テハ石灰無加用
 區首位ニアルモ温度ノ低下急激ナラズシテ漸次的ナルハ綿屑及藁ニ石灰ヲ四
 貫加用セルモノ良好ニシテ單ニ藁ト石灰ヲ使用セルモノハ常ニ温度低ク良
 好ナラズ然レトモ石灰ガ醱酵分解ヲ助成スルハ自明ニシテ適宜他ノ物質ト混
 用スルハ有利ナルベシ

其他茄子胡瓜菜豆鵲豆南瓜冬瓜蕨蕃茄蕃椒石刁拍豌豆等ヲ試作セリ就中
收益多キハ茄子胡瓜菜豆蕃椒鵲豆冬瓜蕃等ナリ

五、玻璃室栽培

一、マスクメロン植土配合試験 九種ノ配合土壤ヲ以テ施行ス就中マスクメロン
ノ生育旺盛ニシテ收量多ク品質佳良ナリシハ田土六分堆肥三分貝殼一分區ニ
シテ園土七分堆肥二分砂礫一分區之レニ次ギ園土及堆肥ノ等量區及田土單用
區等其成績不良ナリキ

一、マスクメロン種類試験 亞米利加種十八種ヲ以テ施行ス就中草勢強健ニシテ
收量多カリシハヘンダーソンヌスアトリーハツケンサツクヲ首位トシヘンダー
ソンヌスアトリーマーケット、ヘンダーソンヌスゼンラリンドヘンダーソンヌスニ
イボード等順次之レニ亞ギヘンダーソンントネツテットゼムヘンダーソンヌスイ
ンブルトブトナットメツグ等ハ草勢虛弱ニシテ良鹹ヲ結成スルニ至ラザリキ
一、草挿入室期試験 四期ニ分チ施行スルモ未ダ試験完了セズ
其他冬瓜鵲豆菜豆茄子胡瓜蕃茄等試作セルモ未ダ充分ナル收益ヲ擧グルニ至
ラズ

六、軟化栽培

本年ヨリハ該栽培室ニ熱湯管ヲ導入シ土當歸野蜀葵蕨等ノ萌出ヲ促セシニ野蜀
葵蕨等ハ最モ成績良好ニシテ相當ノ收益ヲ得ルニ至レリ

七、種苗ノ配布

本年度ニ於ケル種苗ノ配布セシ數量並ニ人名左ノ如シ

品名	數量	配布人員	品名	數量	配布人員
山東白菜	四〇〇 _升	四五六 _人	蠶豆	二〇 _升	三 _人
方領大根	四五〇	四二〇	花椰菜	〇一	五
宮重大根	四〇〇	四二八	ウド苗	八 _本	一
大治蕪	二五〇	三八三	馬鈴薯	八〇 _本	四
開城白菜	一四〇	一七六	午莖	二〇	五〇
芝罘白菜	一〇〇	一二二	胡蘿	一二 _升	七八
葱	六〇	一一〇	梨瓜	六〇	五〇

甘藍	、二〇	一三六	越瓜	、一〇	三九
玉葱	、七〇	一〇五	甜瓜	、一〇	三五
雪白体菜	、八〇	九七	茄子	、八〇	一三三
豌豆	、一〇	八	蕃茄	、〇九	二二
南瓜	、六五	八九	胡瓜	、五〇	一一〇
波陵草	、〇五	三	蒿苳	、〇三	四
パセリ	、〇二	五	セリ	、〇一	二
波蘿門參	、〇七	六	苳蒿	、〇一	四
觀賞南瓜	、〇九	一	西瓜	、六〇	九五
菜豆	、二五	三〇	鵲豆	、二二	二

八、委託採種

前年度ヨリ引續キ施行セルモノニシテ本年度委託採種地左ノ如シ

宮種 重類 大根 西春日井郡春日村大字宮重

方領大根	海部郡甚目寺村大字方領
大治蕪菁	同郡大治村大字長牧
雪白体菜	中島郡稻澤町大字稻澤
開城白菜	同郡祖父江町字三丸淵
午莠	丹羽郡古知野町大字両高屋
胡蘆	同郡布袋町字寄木
山東白菜	愛知郡荒子村字中須
梨瓜	同郡笠寺村字鳴尾
胡瓜	碧海郡旭村字前濱新田
花椰菜	知多郡横須賀町
晚生甘藍	西春日井郡清洲町

温室 (名古屋市商品陳列館内)

一、花卉種類試験 當試験ハ前年度ノ繼續ニシテ殊ニ觀賞用タル花卉ニ至リテハ園藝植物中果樹蔬菜ニ比シ一層種類多ク又年々各地ニ於テ優良珍奇ナル新種

作出セラル、ヲ以テ當温室ハ風土ヲ異ニスル之等ノ花卉及熱帶植物ヲ集メ其性狀用途培養法ニ附キ攻究シツ、アルモノニシテ本年更ニ蘭科四十四種其株數六十三株花卉三十八種ヲ増加シ目下種類五百五十七種鉢數五千二百四十個ヲ以テ致シツ、アリ

二、花卉ニ對スル花粉交配試験 本試験ハ新種作出ノ目的ヲ以テ繼續シツ、アリ就中觀賞用タル花卉ハ最モ珍種奇品ヲ好ム故ニ皆新種ノ作出ヲ研究シツ、アリ其供試種類ハ前年ニ殆ンド同ジクシネラリヤカーネシヨシクラメンダロキンニヤベコニヤセラニユームブルムラノ温室植物ト菊ダリヤスイビーアネモネノ露地種ニシテ尙試験中ナレドモカーネーション一種セラニユーム六種菊三種ノ稍佳良ト認ムベキ物ヲ作出セリ

三、花卉早咲試験 試験ニ供セシハ鉢植ト切花トニシテ鉢植ニアリテハ梅櫻藤躑躅牡丹木蓮木瓜椿百合バイモユリ夏菊切花ニ於テハ梅木蓮櫻木瓜蠟梅椿ムシカリサンシイ桃等ニシテ椿ノ切花ハ入室長キ時ハ葉ノ光澤ヲ失ヒ落花ノ恐レ有レドモ他ハ皆好結果ナリキ猶此外櫻藤牡丹躑躅ノ四種ニ就キエーテルヲ以テ所理セシモノ及冷蔵庫ニ於テ休眠ヲ促進セシメタルモノヲ入室試験セシニ

エーテル所理ノモノニ於テハ藤櫻ハ他ノ行ハザルモノニ比シ約一週間早く開花ヲ見タレドモ冷蔵庫ニヨレルモノハ時期尙早キ爲カ失敗ニ終レリ

四、マスクメロン種類試験 當試験ハ本年度ヨリ本場温室ニ委シ只觀覽者ノ參考トシテ栽培セシモノニシテ供試種類ハヒーローフロツキンクサツトンスー號アクメエメラルドゼムローヤルホブバリード、ベストオフオールノ六種ニシテヒーローフロツキングローヤルホブバリードエメラルドゼム等ハ有望ト認メラル

五、歐洲葡萄及熱帶果樹栽培試験 歐洲葡萄ノ供試種類ハゴールデンクイン、マスカットハンブルグ、ブラツクハンブルク、フラスター、シードリグ、グロココールマン、パイブルダマスカス、マスカットオフアレキサンダー、マガラマスカデラー、ノ八種ニシテ本年僅ニ結實有リタレドモ土質好適セザルヲ以テ今秋植換ヘヲ行ヘリ其他バナ、パ、ヤ龍眼樹椰子バイナツプル等ノ熱帶果樹ハ概シテ高温ヲ要シバ、ヤハ目下結實中ナリ又バナ、ハ普通種ト三尺種ノ二種アリ三尺種ハ四月頃花梗ヲ抽出シ八月收量約三貫匁八十五個ノ果實ヲ收穫セリ其風味ニ至リテハ熱帶産ノ者ニ比シ稍劣リシ感アリ

六、花卉繁殖試験 當試験ハ主トシテ氣候土質ノ關係上種子ノ出來ザルモノ發芽或ハ繁殖ニ困難ナル種類等ニ就キ溫室內繁殖室ニテ行ヒツ、アリ

七、促成用火カ装置ト醱酵熱裝置ノ比較試験 本試験ハ尙施行中ニシテ縣下ノ如キ加熱裝置ニ醱酵材量ヲ主トシテ使用スル處ハ極早ノ促成ハ加熱材料ノ直ニ醱酵冷却シテ時々取換ヲ要シ從テ生育結實ヲ阻害スル欠点アレドモ又一方農家ノ重寶タル堆肥ヲ得ルノ得失アリテ彼我論定スル事ヲ得ザレドモ大規模ノ促成及極早出ノ促成ニアリテハ資本平數ヲ要スル事前者ニ比シ大ナレドモ火力裝置ヲ以テ行フ方得策ナルガ如シ

近時花卉ノ用途需要ハ日用品トシテ益々増加シ不時栽培ノ必要ヲ來シ從テ所々ニ高等栽培ノ増加ヲ見ルニ至リシナリ其他營利ニ娛樂ニ花園溫室ノ設計請求多ク本年ノ觀覽者ハ三萬千八百人ノ多數ナリキ

畜産部

本年度ニ於テ施行セル試験ハ略々前年度ヲ繼承シタルモノニシテ主トシテ名古屋交趾種ノ改良並ニ飼料ノ經濟的的配合ヲ確メンガ爲メニ施行シ併セテ種禽種卵ノ配付並ニ仔豚ノ養成ヲ行ヘリ其ノ概要左ノ如シ

一、試験事業

養鶏之部

一、種類試験 試験ノ成績ニ依リ優良ナル左ノ各種類ニ就キ更ニ同一ナル飼育管理ノ下ニ其ノ優劣ヲ試験セリ

兼用種 名古屋交趾 白色ワイアンドット

黒色オトビントン、ラングシヤン

横斑ブリマウスロツク

卵用種 白色レグホン 褐色レグホン

銀色ハンバーク 黒色ミノルカ

右各種類ノ中兼用種ニアリテハ黑色オーピントン種最モ産卵數多ク、ラングシヤン種最モ寡産ニシテ舉動亦不活發ニ白色ワイアンドット名古屋交趾横斑ブリマウスロットクノ各種ハ何レモ中備ノ産卵數ヲ示セリ卵用種ニ於テハ白色レグホンノ百四十五個、銀色ハンバークノ百四十二個、ヲ最多トシ、アantalシヤン種ノ五十二個五分ヲ最少トス

右ハ何レモ場務ノ都合上同時期ニ於テ孵化育雛スル能ハザリシガ爲メ之レヲ以テ其ノ成績ヲトスルハ早計ナリト雖モ兼用種ブリマウスロットク、ワイアンドット、名古屋交趾種等ハ換羽期中ト雖尙能ク産卵ヲ繼續シテ休産スルコトナキモ卵用種ノレグホン並ニハンバーク種等ハ一時的ノ産卵ニシテ秋季換羽ニ際シテハ非常ニ衰弱シテ全ク休産スルコト五十餘日ニ亘ルヲ以テ其間ニ於ケル經濟上ノ關係有利ナラザルノミナラズ放飼ヲ禁止セラレツ、アル當今ニ於テハ大ニ研究スルノ必要ヲ認ムルヲ以テ尙之レガ幾多ノ雜種ヲ作出シ其ノ産卵性能ヲ調査比較セムトスルモノナリ

之レヲ要スルニ兼用種トシテハ名古屋交趾ワイアンドット、ブリマウスロットク等稍實用的價値ヲ有スルモノニシテ卵用種トシテハ、レグホン、ミノルカ、ハンバ

トク等副業養鶏トシテノ推奨鶏ト云フ可キカ

二、産卵増進試験 本試験ハ前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ名古屋交趾種ノ改良ヲ圖ルヲ以テ目的トシ本年度ハ之レガ第四代目ノ淘汰鶏ニ就テ其ノ性能ヲ調査セリ

此成績ニ依ルニ供試鶏十五羽ノ中第二號鶏ノ十二ヶ月間ニ百九十三個第四號鶏ノ全百七十二個ヲ最多トシ第八號鶏ノ十二ヶ月百十四個ヲ最少トスル外何レモ其ノ中位ニ産卵セリ

而シテ其經過ヲ案スルニ産卵多キモノハ概シテ肉付中等ニシテ脂肪ノ蓄積少ク羽毛ハ能ク体ニ密着シ稍長軀ノモノ比較的多ク寡産ナルモノハ肉付不良ナルカ或ハ脂肪ノ集積多ク体軀ノ不均衡ナルモノ又ハ不健康ナルモノ等著シク異ル点トス又其種卵ノ孵化率及成育狀況ハ前代ニ比シテ非常ニ劣リ孵化後一ヶ月以内ノ成育極メテ悪シク体軟弱ニシテ普通種ト對比スルコト能ハザル程ナリシハ本試験施行中ニ於テ最モ痛傷ヲ感シタルモノニシテ又大ニ近親配偶ノ怖ルベキ事實ヲ認メタリ然レトモ其平均産卵數ニ於テハ前代ニ比シ著シキ發達ヲ示シ實ニ平均數一ヶ年百五十個ノ新記録ヲ作りタルハ未曾有ノ成績ト

云ハサルヲ得ズ

要スルニ其産卵ハ系統的的性能ナルガ故ニ近親ノ弊ヲ現ハサル範圍内ニ於テ配
偶淘汰ヲ行ハ、近キ將來ニ於テ其目的ヲ達スルヲ得ベシ

三、飼料經濟試驗 本試驗ハ肥料用鯀粕及大豆粕ノ飼料價值ヲ確メンガ爲メニ行

ヒタルモノニシテ左ノ四區ニ別チ比較試驗セリ

一、鯀粕青草區 供試鶏雌十二羽

二、鯀粕加與區 同

三、大豆粕加與區 同

四、大豆粕青草區 同

右飼料ノ配合ハ第一及第四區ハ米糠ヲ本位トシテ之レニ鯀粕及大豆粕青草ヲ
加與シ第二第三區ハ米糠麥糠概ヲ本位トシ之ニ鯀粕並ニ大豆粕ヲ加與シタル
モノナリ而シテ飼料ノ容量評價産卵數及糞量等ハ毎日之レヲ調査秤量シ供試
鶏ノ体量ハ十日目毎ニ秤量シテ其ノ肥脊並ニ健康状態ヲ比較セリ其成績ニ依
レバ産卵數ニ於テハ第一區ノ一千三百八十六個第二區ノ一千二百二十九個第四
區ノ一千〇三十四個第三區ノ五百十九個ノ順序ニシテ飼育費ハ第二區ノ拾七

四、

育雛試驗 全天然育雛ノ難易優劣ヲ確メンガ爲メランプ給温育雛器ヲ使用シ
圓六錢參厘第四區ノ拾六圓八拾八錢第一區ノ十五圓四拾七錢九厘第三區ノ拾
參圓六錢壹厘ニシテ差引利益ノ最モ多キハ第一區拾七圓參拾七錢七厘之ニ次
クハ第二區ニシテ其最尠キハ第三區ノ六拾七錢七厘トス而シテ其ノ經過ノ良
好ナリシハ第四區ニシテ試驗施行中非常ニ健康ニシテ發病鶏一羽ヲモ出サ、
リシガ第三區ハ施行後六ヶ月ヲ經過セサル中ニ早ヤ之ガ中毒性ヲ起シテ結了
期迄ニ七羽ノ罹病鶏ヲ出シ第二第一ノ兩區ハ何レモ二羽宛ノ病鶏ヲ出スニ至
レリ尙各區ノ卵ニ就テ其孵化力並ニ成育歩合ヲ試驗シタルニ孵化力ニ於テハ
第一第四區最モ旺盛ニシテ第二區最モ劣レリ然レモ難ノ成育ニ至リテハ全ク
孵化ニ反シテ第二區ハ全部完全ニ成育シ而モ平均以上ノ發育ナリシモ第一區
ハ成育不齊難稍虛弱ニ第四區ハ發育中位整齊ナリキ之レヲ要スルニ鯀粕ハ産
卵鶏ノ飼料トシテ大豆粕ニ優レモ蕃殖鶏ニハ却テ大豆粕ヲ以テ優秀ナリト云
ヒ得ベク青菜ハ鯀粕並ニ大豆粕等ノ濃厚ナル飼料ヲ與フル場合ニ於テ之レガ
消化吸收ヲ促ス爲メニ飲クベカラサルモノト云ヒ得ベキカ何レニシテモ極端
ナル飼料ノ配合ハ産卵鶏ニ對シテハ最モ慎マサル可カラザル要件ナリト信ズ

母鶏育ト同様ノ種類飼料ヲ以テ比較試験ヲ行ヘリ
 即チ天然育ニ依ルモノハ飼付雛五十八羽ニ對シ四十三羽即チ七割四分一厘ノ
 成育ヲナシタルニ對シ全育ニヨルモノハ飼付雛四十羽ニ對シ三十五羽八割七
 分五厘ノ成育ヲ示シタリ且ツ一般管理ニ於テモ母鶏ノ數箱ニ別チテ分飼スル
 ニ比シ多數羽一器内ニ飼育スル全育雛ノ方却テ便利ナル場合多シ然レドモ全
 育ハ相當ノ技術經驗ヲ要スルモノナレバ各同等ナル場合ニ於ケル優劣ハ尙今
 後數回ノ試験ヲ行ヒテ之ヲ確メントス

二、種禽ノ繁殖

種禽ノ繁殖並ニ種禽種卵ノ配付
 最モ優良ト認メタル純粹種ノ繁殖ヲ行ヒ種禽ノ交代ヲ行ヒシ外一般當業者ノ
 需要ニ應ジテ種禽種卵共之ガ配付ヲ行ハリ
 本年度ニ於テ拂下ケタル種禽種卵ノ數量並ニ人員左ノ如シ

種禽類	種卵拂下數	種禽拂下數	同人員	種禽拂下數	同人員
-----	-------	-------	-----	-------	-----

名古屋交趾	一三五	七三	一七	六
白色レグホン	八六四	六三	五二	一四
褐色レグホン	三六四	三〇	一七	一〇
黒色ミナルカ	二〇八	一八	一	一
銀色ハンパルク	一七七	一七	一	一
白色ワイアンドット	一五四	一四	一	一
横斑アリモウスロツク	二七	三	三	一
黒色オービントン	二四	三	一	一
アングダルシヤン	三〇	四	一	一
ラングシヤン	二八	二	一	一
七面鳥	五二	五	二	一
支那鷄	四二	五	一	一
エムデン鷄	七	二	一	一
合計	三三二八	二三九	七五	二七

三、委託試験

本場ニ於ケル種禽種卵配付ノ不足並ニ其他ノ試験ノ補足ヲナサムガ爲メ尾張三河ニ各一ヶ所ノ委託試験ヲ設ケ嚴密ナル監督ノ下ニ本年度ニ於テハ主トシテ種禽種卵ノ配付ヲ行ヘリ其ノ成績左ノ如シ

種 類	卵 數	人 員	種 禽 數	人 員
渥美郡二川町	志滿津哲太郎			
黑色ミノルカ	三三一	一七人	六	二人
白色レグホン	六四	五	一九	三
名古屋交趾	六〇	五	一	一
計	四五五	二七	二五	五
丹羽郡岩倉町	關戸金次郎			
名古屋交趾	一一九〇	一人	四四	一人

四、養 豚 之 部

本年度ニ於テハバークシヤ雜種ハ四月十一月ノ二回バークシヤ種ハ八月一回分婉蕃殖ヲ行ヒタリ、バークシヤ雜種ハ二回共母仔共ニ分婉後ノ經過成育共良好ナリシ

モハークシヤ種ハ産後乳汁ノ分泌充分ナラサリシヲ以テ牛乳ヲ以テ人工補育ヲ行ヒタリシモ完全ナル發育ヲナスニ至ラサリキ
右ノ仔豚ハ計十五頭ノ中三頭ハ當場種用トシテ養成シ他ハ希望者ニ配付シ及配付中ナリ
配付済ノ頭數及人員左ノ如シ

四 頭 二人
以 上

雜ノ部

一、出張

本年度中場員ノ出張左ノ如シ

出張ノ種類	回数
農事講話	四七
同 實地指導	二八
同 調査	一〇二
委託試驗地監督	一一
病害虫豫防驅除督勵	四六
品評會共進會審査	三二
其他 雜	三九五
計	六六一件
質問 應答	三八二

内 百三十九件本場
二百四十三件種藝部

二、印刷物

印刷物種類	部數
青物市場一覽	六〇〇
大正二年度業務功程	五〇〇
稻麥ノ採種	一〇〇〇
夏作試驗說明	二〇〇〇
農事試驗成績(果樹ノ部)	一、五〇〇
鶏種產卵圖(一枚刷)	一、五〇〇
輪栽標準圖(同)	一、五〇〇
梨良品種(同)	一、五〇〇
蔬菜生產統計表(同)	一、五〇〇
飼料試驗應用圖(同)	一、五〇〇
桃ノ良品種(同)	一、五〇〇
農事試驗成績(菜菔白菜)	一、〇〇〇

大正四年四月廿八日印刷

大正四年四月廿九日發行

愛知縣立農事試驗場

大正四年四月廿八日印刷

愛知縣立農事試驗場

愛知縣名古屋市中區榮町六丁目拾壹番地

印刷者 英比貞造

愛知縣名古屋市中區榮町六丁目拾壹番地

印刷所 扶桑新聞社

電話四二四番

八十一

14.2
1
134

雙龍圖四二四卷

并裝海門

雙龍圖四二四卷

田園春

英武貞靈

雙龍圖四二四卷

雙龍圖立身事知錄

大正四年四月廿六日發行

大正四年四月廿八日發行

終

